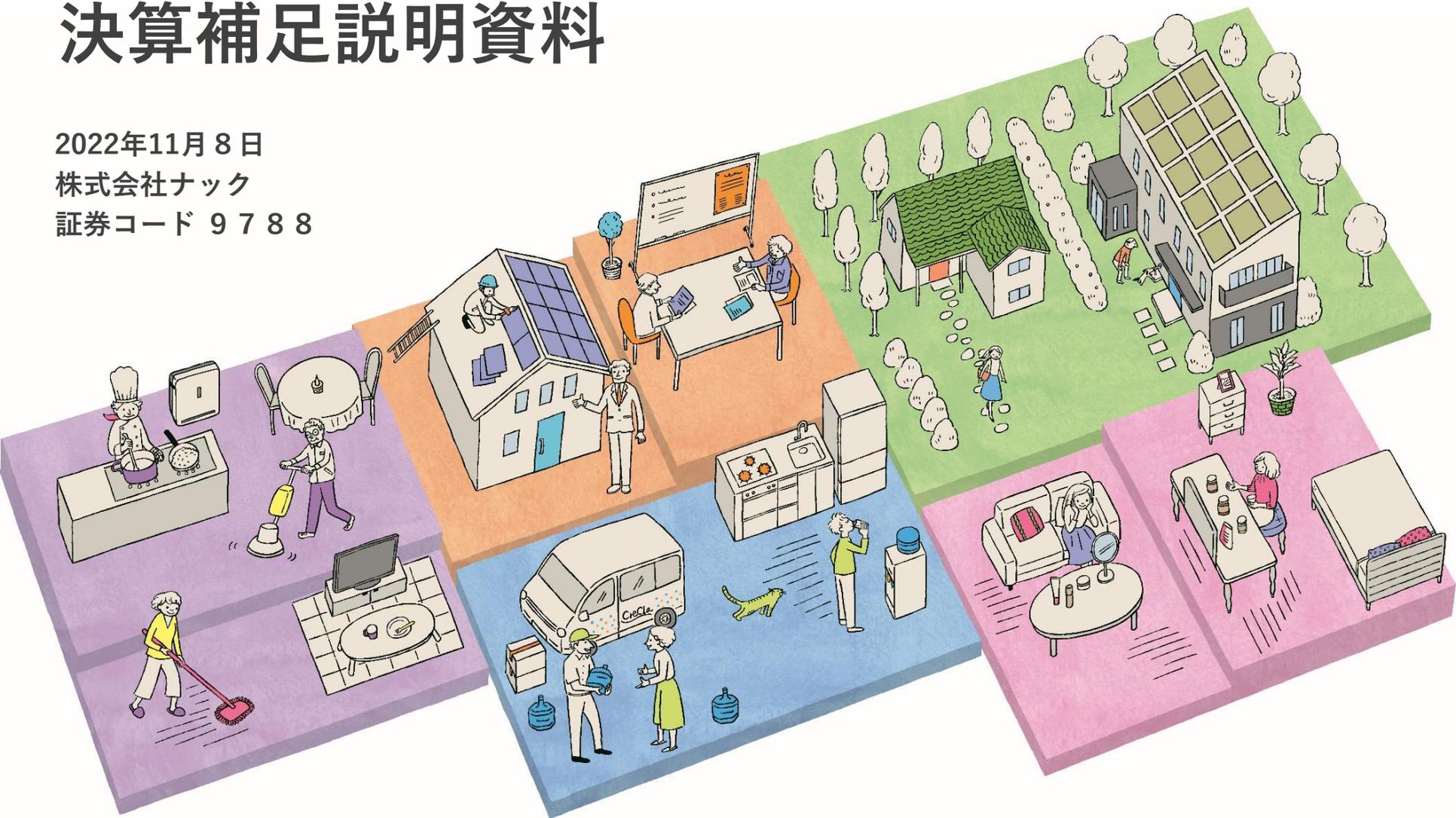


2023年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2022年11月8日
株式会社ナック
証券コード 9788



(注) 当社は第2四半期において決算説明会を行っておりません。

この資料は、2023年3月期第2四半期決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

本資料の記載内容

01	第2四半期の実績	…	P. 2
02	セグメント別業績	…	P. 14
03	業績予想	…	P. 34
04	配当	…	P. 38
05	中期経営計画	…	P. 40
06	会社概要	…	P. 47

この配付資料に記載されている業績目標等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこの配付資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

01 第2四半期の実績

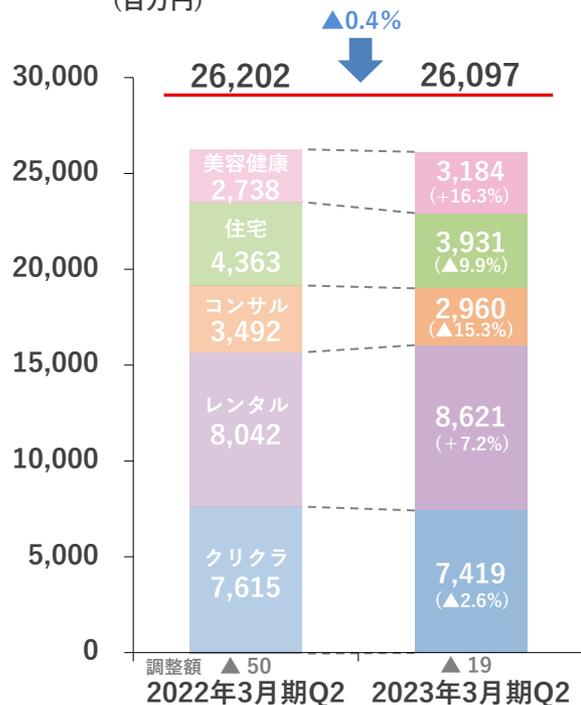
1-1. 連結損益計算書

1-1a 業績ハイライト（前年同期比）

- 売上高**
 - レンタル** (株)アーネストにおいて厚労省が実施する水際対策支援事業が好調に推移、また飲食店の営業再開によりウィズ事業の売上高が増加
 - コンサル** 建築費高騰やコロナ関連融資の返済開始等、コンサルティング部門の顧客である地場工務店の購買力低下により減少
- 営業利益**
 - コンサル** 売上総利益率の高いコンサルティング部門における売上高減少に伴い減少
 - 美容健康** 新規顧客獲得の好調に伴う広告費の積極的な前倒し運用により減少
- 四半期純利益** 売上高減少や販売費及び一般管理費の前倒しに伴い減少

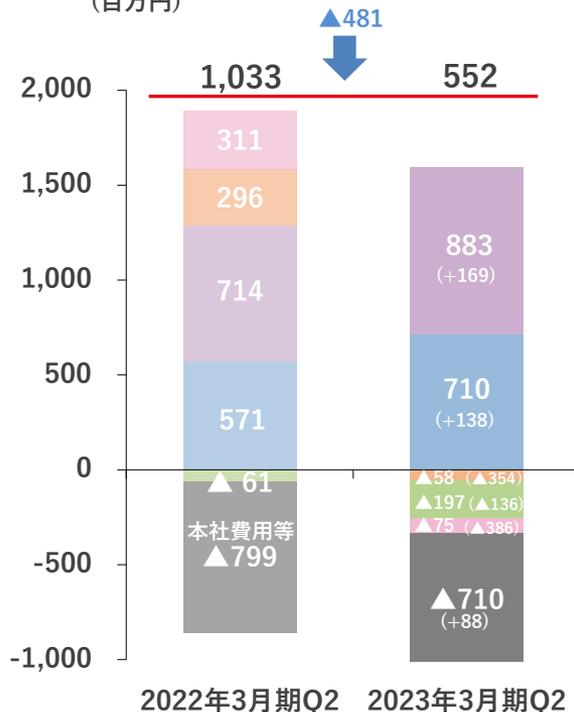
売上高 (カッコ内は増減率)

(百万円)



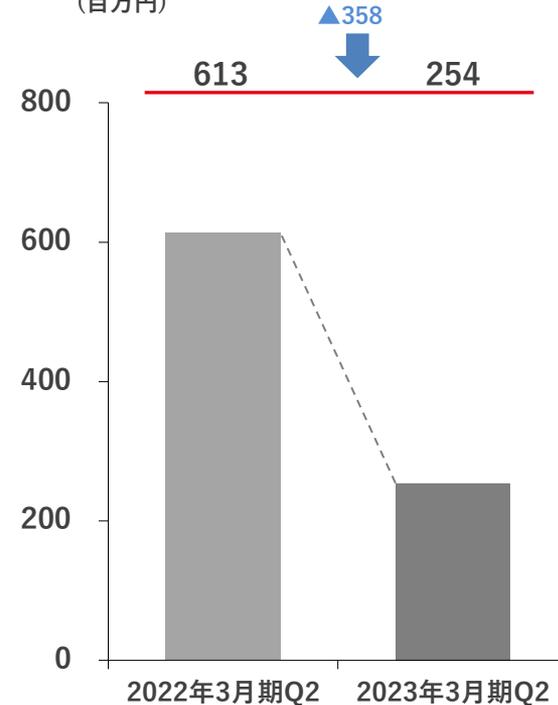
営業損益 (カッコ内は増減額)

(百万円)



四半期純利益 (※)

(百万円)



(※) 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益、調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

1-1b 四半期別 売上高／営業利益の四半期推移

2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高									
12,727	14,281	13,927	14,577	11,984	14,218	13,727	14,993	11,702	14,394
営業利益									
211	614	871	1,084	185	848	856	871	▲243	795
売上高四半期推移									

(百万円)

※建築コンサルティング事業、住宅事業の売上がQ4に集中する反動として、Q1の売上高は減少しています。



(※) 調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

1-1c 連結損益計算書

	2023年3月期 Q2実績	計画比		前期比	
		当期Q2計画※ (2022年5月13日公表値)	達成率※	前期Q2実績	増減率
売上高	26,097	28,500 (26,000)	91.6% (100.4%)	26,202	▲ 0.4%
売上総利益	13,108	—	—	13,037	+ 0.5%
(売上総利益率)	50.2%	—	—	49.8%	+ 0.4pt
販売費及び一般管理費	12,556	—	—	12,004	+ 4.6%
営業利益	552	1,050 (550)	52.6% (100.4%)	1,033	▲ 46.6%
(営業利益率)	2.1%	—	—	3.9%	▲ 1.8pt
営業外損益	13	—	—	▲ 5	—
経常利益	566	1,050 (550)	53.9% (102.9%)	1,027	▲ 44.9%
特別損益	5	—	—	51	▲ 89.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	254	700 (250)	36.4% (101.6%)	613	▲ 58.5%

※カッコ内は2022年11月4日に公表した最新の計画値と、それに対する達成率です。

1-1d セグメント別売上高

(百万円)

	2023年3月期 Q2実績	計画比		前期比	
		当期Q2計画 <small>(2022年5月13日公表値)</small>	計画比	前期Q2実績	前年同期比
ク リ ク ラ 事 業	7,419	7,400	+ 19	7,615	▲ 196
レ ン タ ル 事 業	8,621	8,100	+ 521	8,042	+ 578
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	2,960	4,000	▲ 1,039	3,492	▲ 532
住 宅 事 業	3,931	5,100	▲ 1,168	4,363	▲ 432
美 容 ・ 健 康 事 業	3,184	3,900	▲ 715	2,738	+ 445
消 去 調 整 他	▲ 19	—	—	▲ 50	—
合 計	26,097	28,500	▲ 2,402	26,202	▲ 105

1-1e セグメント別営業利益

(百万円)

	2023年3月期 Q2実績	計画比		前期比	
		当期Q2計画 <small>(2022年5月13日公表値)</small>	計画比	前期Q2実績	前年同期比
ク リ ク ラ 事 業	710 (9.6%)	550 (7.4%)	+ 160 (+ 2.1pt)	571 (7.5%)	+ 138 (+ 2.1pt)
レ ン タ ル 事 業	883 (10.3%)	720 (8.9%)	+ 163 (+ 1.4pt)	714 (8.9%)	+ 169 (+ 1.4pt)
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	▲ 58 (▲ 2.0%)	380 (9.5%)	▲ 438 (▲ 11.5pt)	296 (8.5%)	▲ 354 (▲ 10.5pt)
住 宅 事 業	▲ 197 (▲ 5.0%)	▲ 20 (▲ 0.4%)	▲ 117 (▲ 4.6pt)	▲ 61 (▲ 1.4%)	▲ 136 (▲ 3.6pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	▲ 75 (▲ 2.4%)	180 (4.6%)	▲ 225 (▲ 7.0pt)	311 (11.4%)	▲ 386 (▲ 13.7pt)
全 社 費 用 等	▲ 710	—	—	▲ 799	—
合 計	552 (2.1%)	1,050 (3.7%)	▲ 497 (▲ 1.6pt)	1,033 (3.9%)	▲ 481 (▲ 1.8pt)

※カッコ内の数値は売上高に対する営業利益率です。

1-1f 営業利益の増減要因（前年同期比）

売上総利益

レンタル レンタル事業が好調に推移したため増加

コンサル 建築コンサルティング事業での売上高減少に伴い減少

広告宣伝費及び販売促進費

住宅 (株)ジェイウッドにて集客促進のため広告宣伝費を先行投資したことにより増加

美容健康 (株)JIMOSにて新規顧客獲得の好調による積極的な広告投資の前倒し実施により増加

(百万円)

			前年同期比増減率
2022年3月期Q2	営業利益	1,033	—
	売上総利益の増減	+ 70	+ 0.5%
	人 件 費	+ 4	▲ 0.1%
	広 告 宣 伝 費 及 び 販 売 促 進 費	▲ 399	+ 29.7%
販売費及び 一般管理費の増減	地 代 家 賃	▲ 21	+ 2.7%
	減 価 償 却 費 ・ の れ ん 償 却 額	▲ 21	+ 5.1%
	そ の 他 販 管 費	▲ 114	+ 2.5%
2023年3月期Q2	営業利益	552	—

01 第2四半期の実績

1-2. 連結貸借対照表

1-2a 連結貸借対照表 資産の部

流動資産 **増加** 販売用不動産 + 689百万円 未成工事支出金 + 348百万円

減少 現金及び預金 ▲ 2,203百万円

固定資産 特記事項なし

(百万円)					
	2023年3月期 Q2	構成比	2022年3月期	構成比	増減額
流動資産	24,462	63.5%	25,091	63.2%	▲ 628
有形固定資産	8,468	22.0%	8,720	22.0%	▲ 251
無形固定資産	1,671	4.3%	1,890	4.8%	▲ 219
投資その他の資産	3,894	10.1%	4,022	10.1%	▲ 127
固定資産	14,034	36.5%	14,633	36.8%	▲ 598
資産合計	38,496	100.0%	39,724	100.0%	▲ 1,227

1-2b 連結貸借対照表 負債の部・純資産の部

負債 増加 未成工事受入金 + 387百万円

減少 未払金 ▲ 383百万円 未払法人税等 ▲ 366百万円

純資産 減少 利益剰余金 ▲ 404百万円 その他有価証券評価差額金 ▲ 107百万円

(百万円)					
	2023年3月期 Q2	構成比	2022年3月期	構成比	増減額
流動負債	11,979	31.1%	12,576	31.7%	▲ 596
固定負債	4,933	12.8%	5,009	12.6%	▲ 76
負債合計	16,912	43.9%	17,585	44.3%	▲ 673
株主資本	22,254	57.8%	22,627	57.0%	▲ 373
その他の包括利益累計額	▲ 670	▲ 1.7%	▲ 563	▲ 1.4%	▲ 106
非支配株主持分	—	—	74	0.2%	▲ 74
純資産合計	21,583	56.1%	22,138	55.7%	▲ 554
負債・純資産合計	38,496	100.0%	39,724	100.0%	▲ 1,227

01 第2四半期の実績

1-3. 連結キャッシュフロー計算書

1-3 連結キャッシュフロー計算書

営業CF	増加	税額等調整前四半期純利益 + 571百万円
	減少	棚卸資産の増加 ▲ 1,064百万円 未払金の減少 ▲ 416百万円 未払消費税等の減少 ▲ 113百万円
投資CF	減少	有形固定資産の取得による支出 ▲ 107百万円
財務CF	減少	配当金の支払額 ▲ 653百万円

	2023年3月期 Q2実績	2022年3月期 Q2実績	2022年3月期 通期実績
1.営業活動によるキャッシュフロー	▲ 1,192	626	2,847
2.投資活動によるキャッシュフロー	▲ 212	▲ 822	▲ 1,107
3.財務活動によるキャッシュフロー	▲ 849	▲ 1,986	▲ 3,743
現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,254	▲ 2,181	▲ 2,001
現金及び現金同等物の期首残高	12,187	14,188	14,188
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,983	12,008	12,187
減価償却費	513	495	1,020

02 セグメント別業績

2-1. クリクラ事業

2-1a クリクラ事業 売上高および営業利益推移

売上高 **直営部門** 夏季の平均気温が高めに推移したことによるお水の消費量増加と、クリクラボトルの値上げ前による駆け込み需要で納品数が増加したため、直営部門では増加

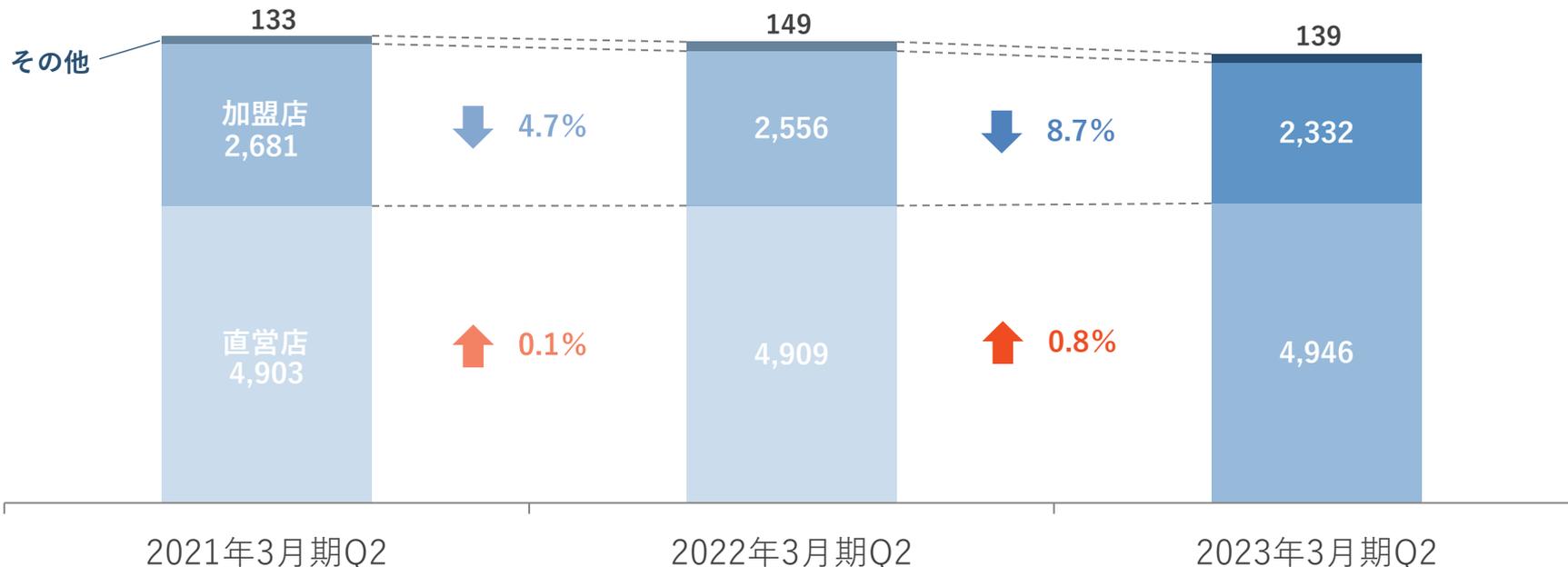
加盟店部門 2022年4月に加盟店向けサーバーの販売価格を値上げしたことで販売数が鈍化、さらに次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」関連商材の販売数減少により、加盟店部門では減少

営業利益 **直** **加** 販促活動の見直しにより販売促進費と一般管理費が減少したため増加

	2021年3月期Q2	2022年3月期Q2	2023年3月期Q2
売上高	7,718	7,615	7,419
営業利益	934	571	710

(百万円)

売上高推移



2-1b クリクラ事業 売上高／営業利益の四半期推移

売上高

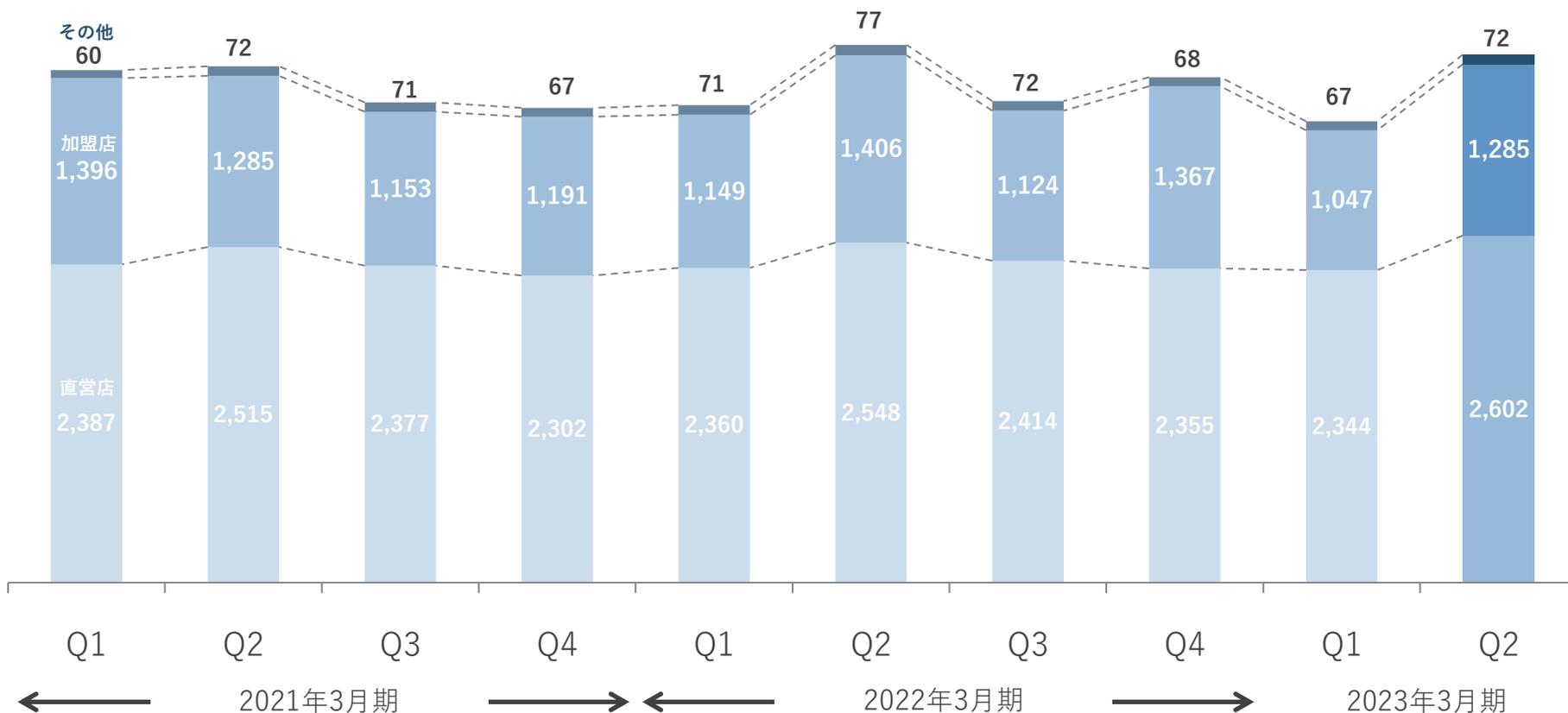
(百万円)

3,844 3,873 3,602 3,561 3,582 4,032 3,611 3,792 3,459 **3,960**

営業利益

491 442 371 321 169 401 286 411 125 **584**

売上高四半期推移



2-1c クリクラ事業 第52期以降の重点施策

- 顧客件数の拡大
 - ⇒ 各種販売チャネル強化をはじめとしたあらゆる顧客獲得策の実行
 - ⇒ 新商品・新サービスの開発・提供
 - ⇒ サービス品質向上、SNS活用、CRM強化等
 - ⇒ 「クリクラあんしん宣言」による安全性訴求
 - ⇒ システムインフラ「CrePF（クリクラプラットフォーム）」の実証
- 人材の確保と育成体制の強化
- メディア戦略、競合対策の強化



02 セグメント別業績

2-2. レンタル事業

2-2a レンタル事業 売上高および営業利益推移

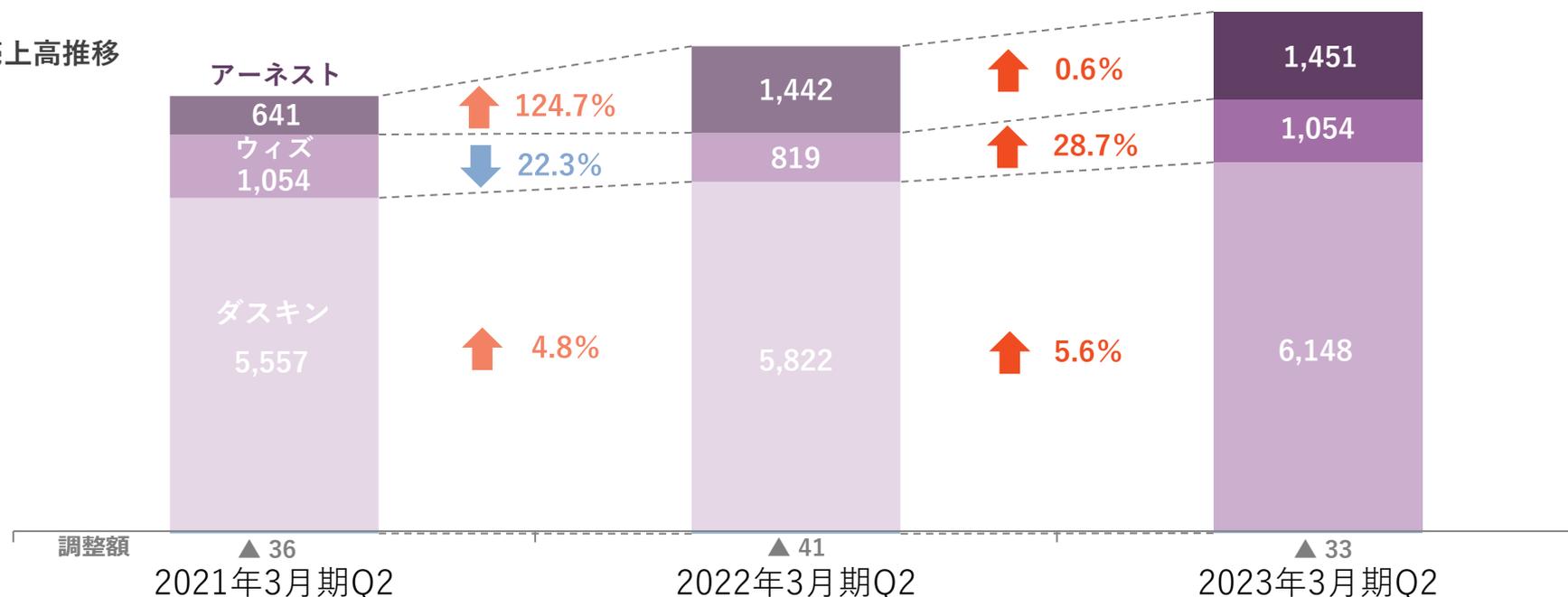
- 売上高**
- ダスキン** ダストコントロール商品部門にて一部商品の値上げ実施により増加
ケアサービス部門にて事業拡大により増加（前年同期比で+15事業）
 - ウィズ** 飲食店の営業再開に伴い、停止していた定期納品が回復し増加
 - アーネスト** 感染症関連事業（厚労省が実施する水際対策の支援事業）が好調に推移したため増加

営業利益 **ウ** **ア** 売上高増加に伴い営業利益が増加

	2021年3月期Q2	2022年3月期Q2	2023年3月期Q2
売上高	7,216	8,042	8,621
営業利益	595	714	883

(百万円)

売上高推移



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-2b レンタル事業 売上高／営業利益の四半期推移

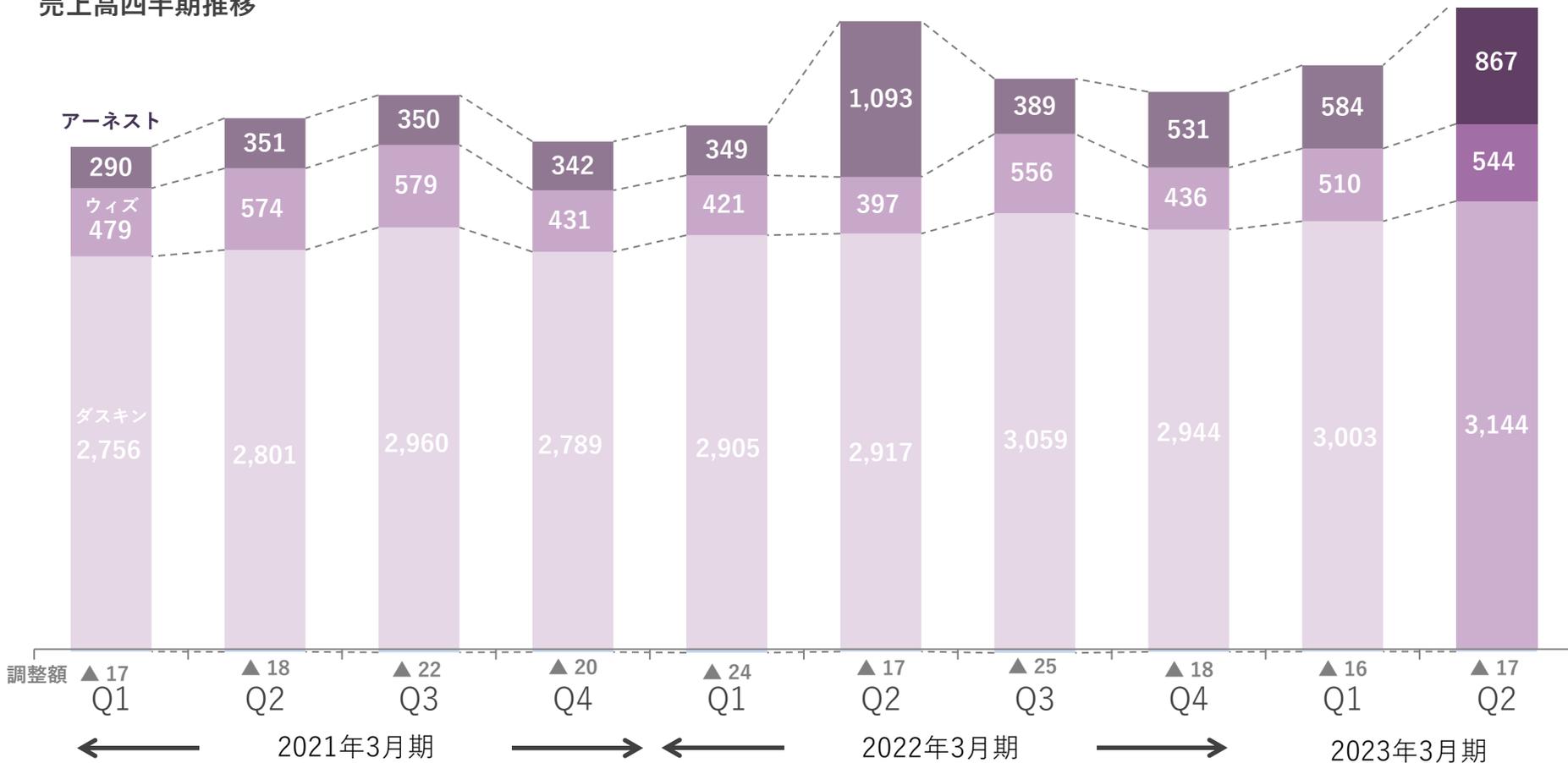
売上高 (百万円)

3,508	3,708	3,867	3,542	3,652	4,390	3,979	3,894	4,081	4,539
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

営業利益

267	328	446	290	290	424	458	448	414	469
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

売上高四半期推移

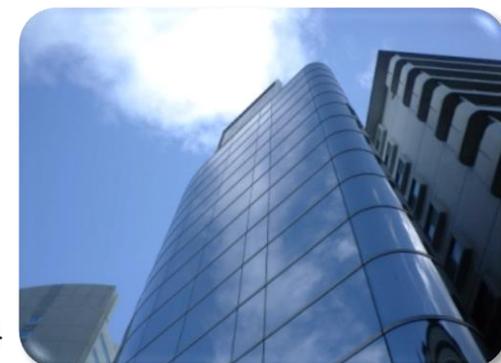
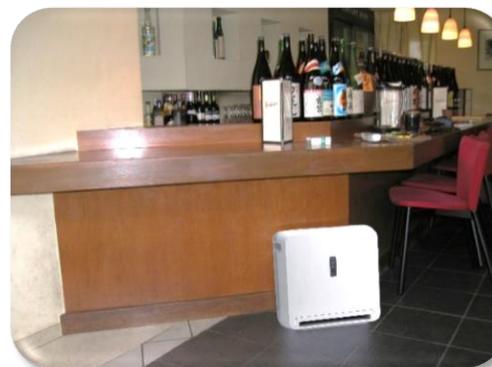


(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-2c レンタル事業 第52期以降の重点施策

- (株)ダスキンとの資本業務提携による計画推進
 - ⇒ ケアサービス部門：提携後の71事業 (※) 追加に加え、39事業を追加
 - ⇒ ヘルスレント部門：提携後の5店舗出店に加え、新たに5店舗を追加
- ダスキン事業（ダストコントロール商品部門）：Face to Faceでの顧客接点重視への原点回帰
- ウィズ事業：組織体制強化および感染症の影響で中止していた代理店開拓の再開

(※) 2022年9月末時点の事業数



02 セグメント別業績

2-3. 建築コンサルティング事業

2-3a 建築コンサルティング事業 売上高および営業利益推移

売上高 **コンサル** 建築費高騰やコロナ関連融資返済開始等による顧客の購買力低下により減少

NSE 長期化する半導体不足の影響で工期が遅延したことにより減少

エースホーム 加盟店での上棟数減少に伴う卸売減少、共同開発商品の反動減により減少

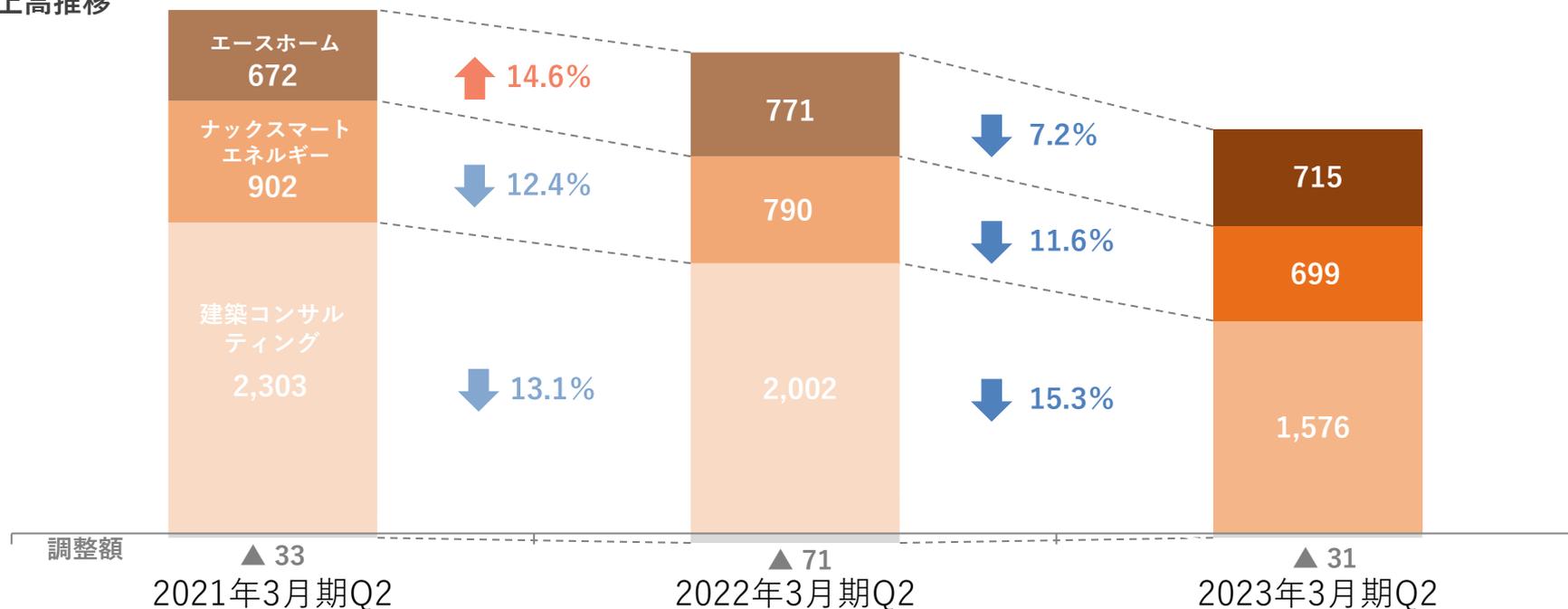
営業利益 **コンサル** 売上総利益率の高いコンサルティング部門での売上高減少に伴い減少

(注) NSE：ナックスマートエネルギー(株)

(百万円)

売上高	3,845	3,492	2,960
営業利益	112	296	▲ 58

売上高推移



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-3b 建築コンサルティング事業 売上高／営業利益の四半期推移

(百万円)

売上高

1,949 1,896 1,950 2,699 1,732 1,760 1,717 2,239 1,302 **1,657**

営業利益

▲ 25 138 188 506 84 212 113 461 ▲ 193 **134**

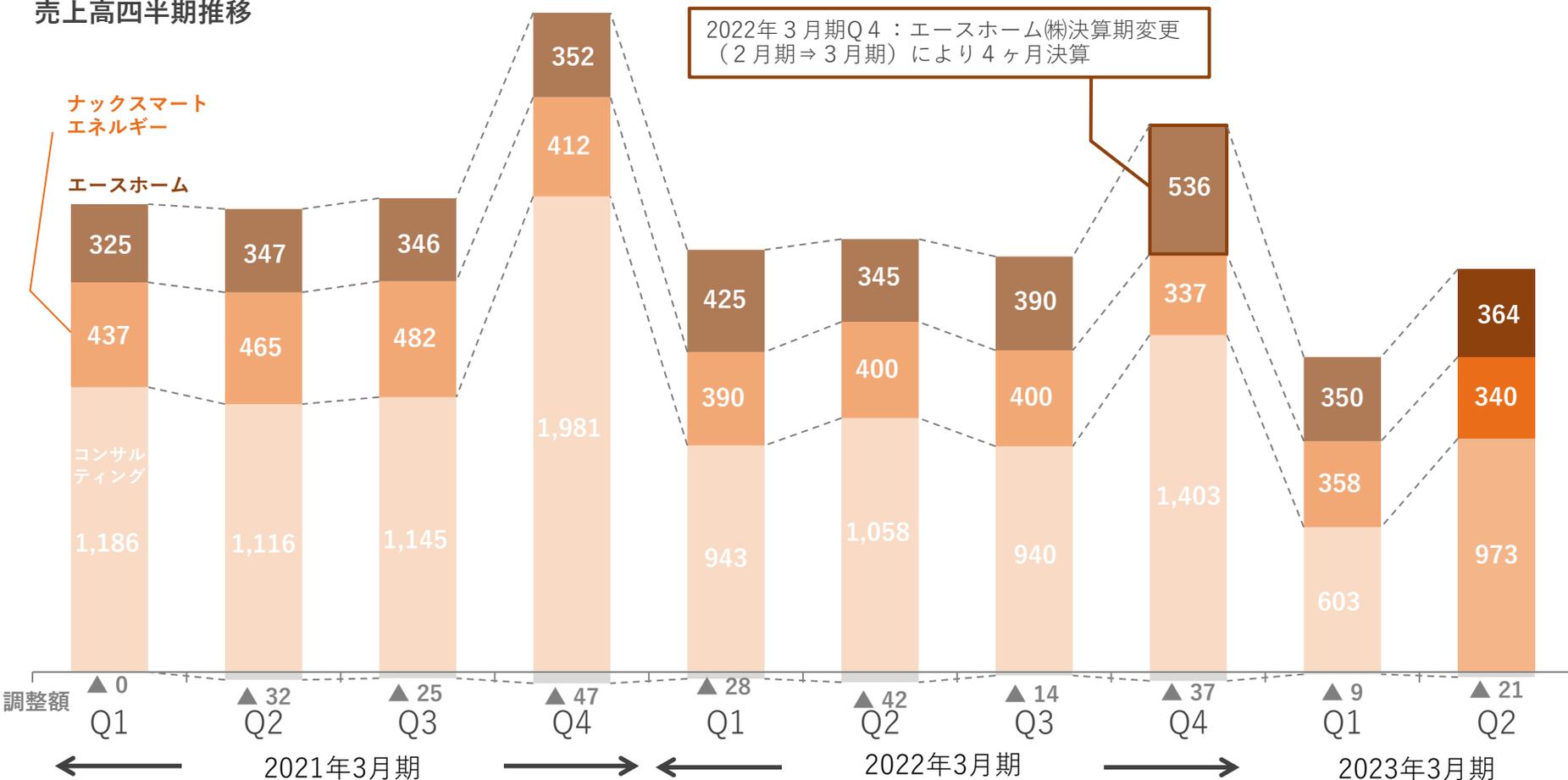
売上高四半期推移

2022年3月期Q4：エースホーム(株)決算期変更
(2月期⇒3月期)により4ヶ月決算

ナックススマート
エネルギー

エースホーム

コンサル
ティング



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-3c 建築コンサルティング事業 第52期以降の重点施策

- コンサルティング部門：中期経営計画の実行および会員への研修強化、無料会員制度の導入
中核業務以外でのBPOやSDGsの切り口も活用した営業活動の展開
- ナックスマートエネルギー(株)：脱炭素社会実現に向けた国や自治体の各種施策を追い風に、
住宅市場向けの顧客をメインターゲットに業容拡大
- エースホーム(株)：加盟店支援の強化およびナックとの協働による新サポートサービスの試行



02 セグメント別業績

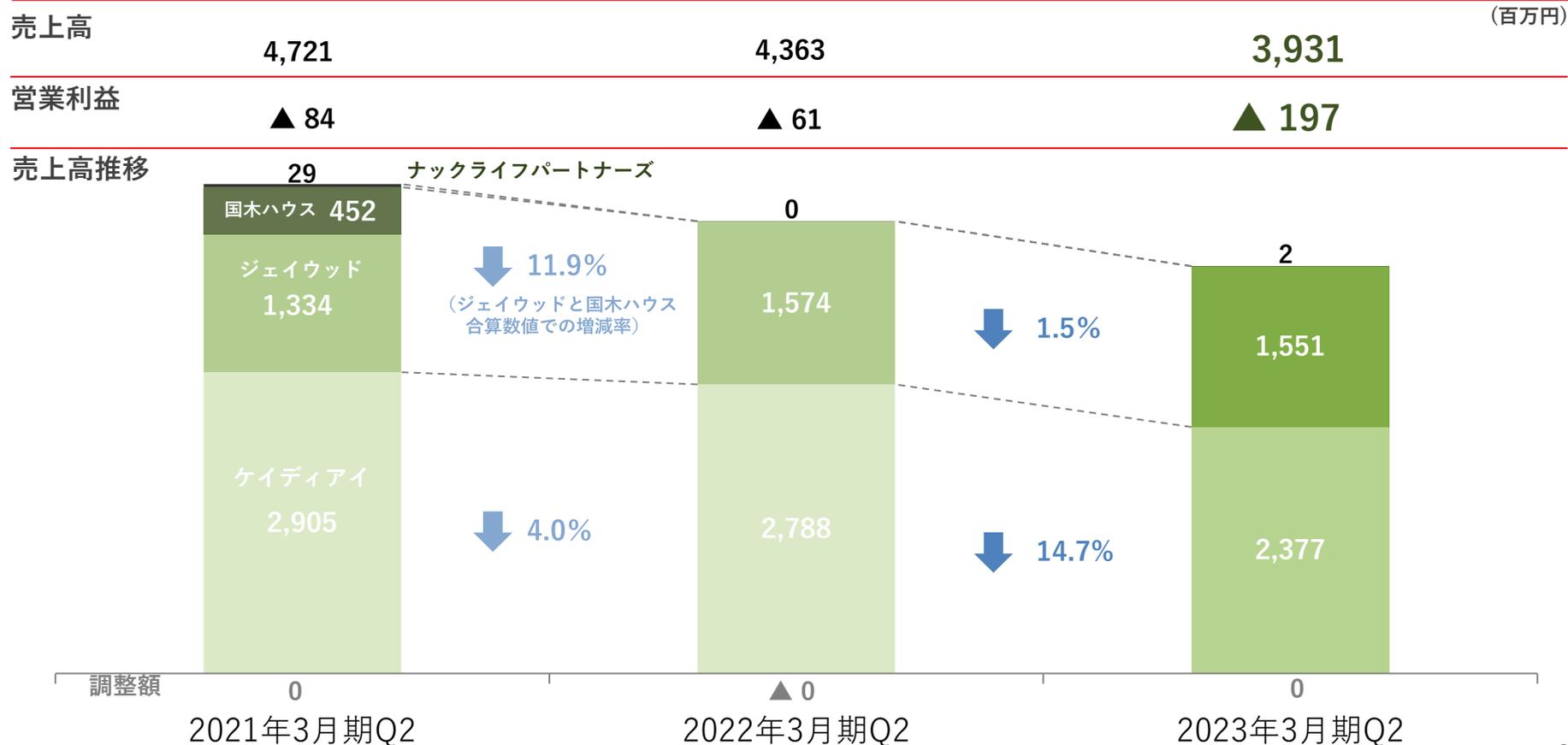
2-4. 住宅事業

2-4a 住宅事業 売上高および営業利益推移

売上高 ケイディアイ 販売在庫について、微増したものの土地価格高騰により引き続き仕入苦戦
また物価高の影響で不動産市場が鈍化したため減少

営業利益 ケイディアイ 売上高減少に伴い営業利益も減少

ケ ジ 建築部資材の価格高騰による売上総利益低下により減少

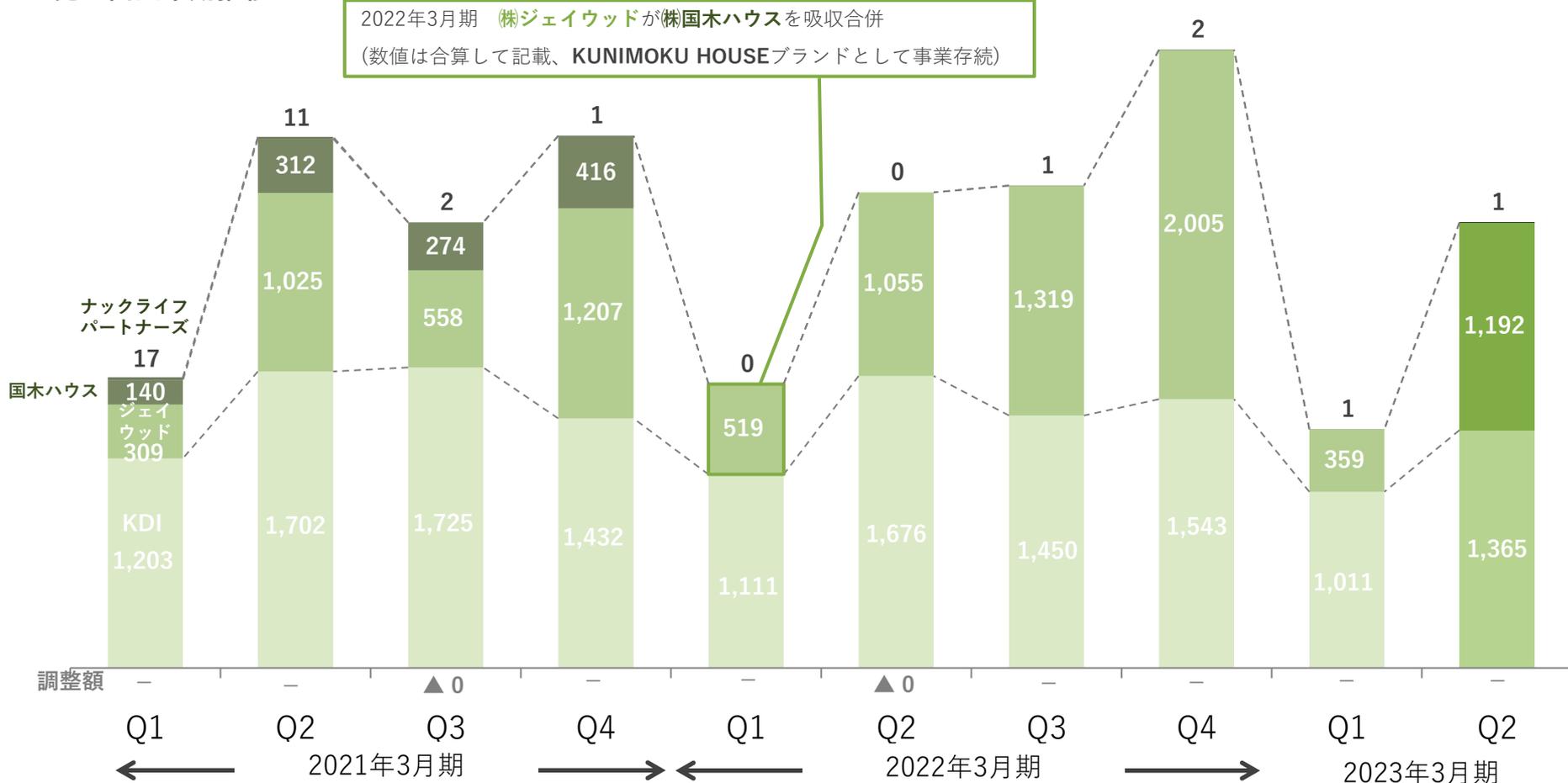


2-4b 住宅事業 売上高／営業利益の四半期推移

売上高 (百万円)									
1,670	3,051	2,562	3,057	1,631	2,732	2,771	3,551	1,371	2,559
営業利益									
▲ 156	72	▲ 4	163	▲ 114	53	142	152	▲ 197	▲ 0

売上高四半期推移

2022年3月期 (株)ジェイウッドが(株)国木ハウスを吸収合併
(数値は合算して記載、KUNIMOKU HOUSEブランドとして事業存続)



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-4c 住宅事業 第52期以降の重点施策

- (株)ジェイウッド：移動モデルハウスやWeb対策、紹介獲得のための各種施策の実行
KUNIMOKU HOUSE事業での、廉価型企画住宅や狭小地3階建てプランによる新たな層の取り込み
- (株)ケイディアイ：売上高増加と収益性強化を目的とする営業エリア拡大の進行
注文住宅事業や中古マンションのリフォーム再販事業への展開



▲2022年9月
吉祥寺店(東京)新規OPEN



株式会社 **ジェイウッド**

**KUNIMOKU
HOUSE**



KDI-HOME

Kindness, Development, Integrity

02 セグメント別業績

2-5. 美容・健康事業

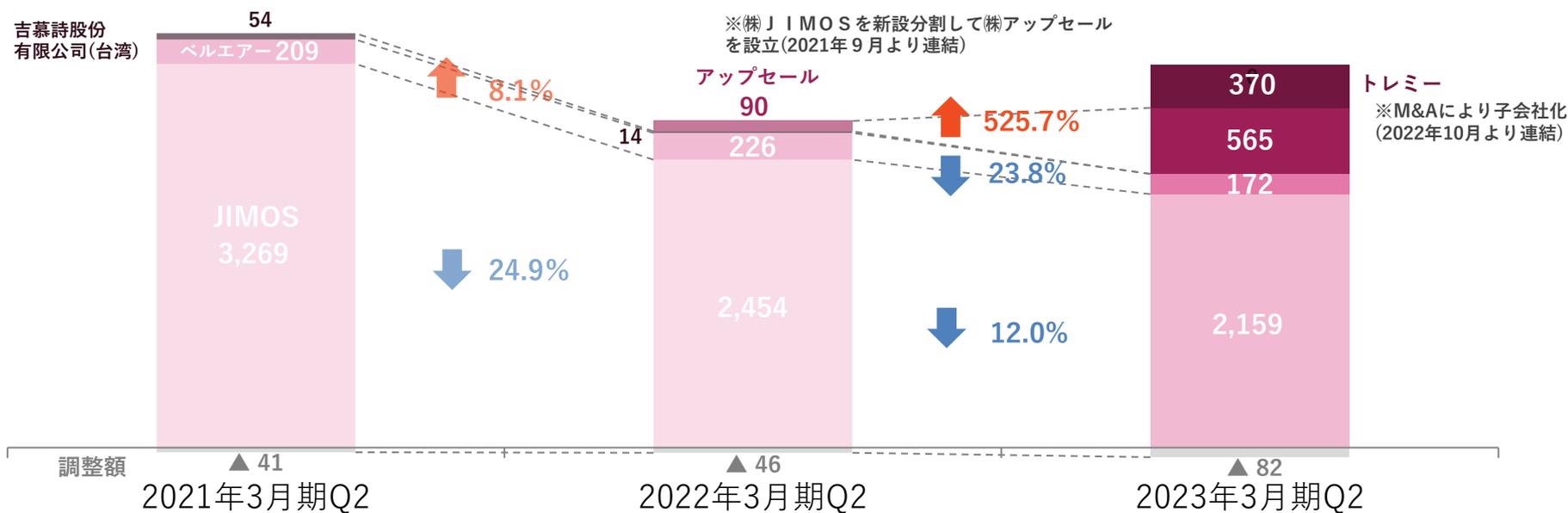
2-5a 美容・健康事業 売上高および営業利益推移

- 売上高**
- JIMOS** アップセールの新設分割による減少分を除くと、新規顧客獲得の増加および吸収合併した「豆腐の盛田屋」ブランドの好調もあり増加
 - ベルエアー** 栄養補助食品の顧客数減少により前期比で減少
 - アップセール** 医薬品事業譲受するも、ヘアケア事業で流通減および値上げにより売上高減少
- 営業利益**
- JIMOS** 新規顧客獲得の好調による積極的な広告投資の前倒しにより減少
 - ベルエアー** 利益率の高い栄養補助食品の販売減少により減少

	2021年3月期Q2	2022年3月期Q2	2023年3月期Q2
売上高	3,528	2,738	3,184
営業利益	▲ 147	311	▲ 75

(百万円)

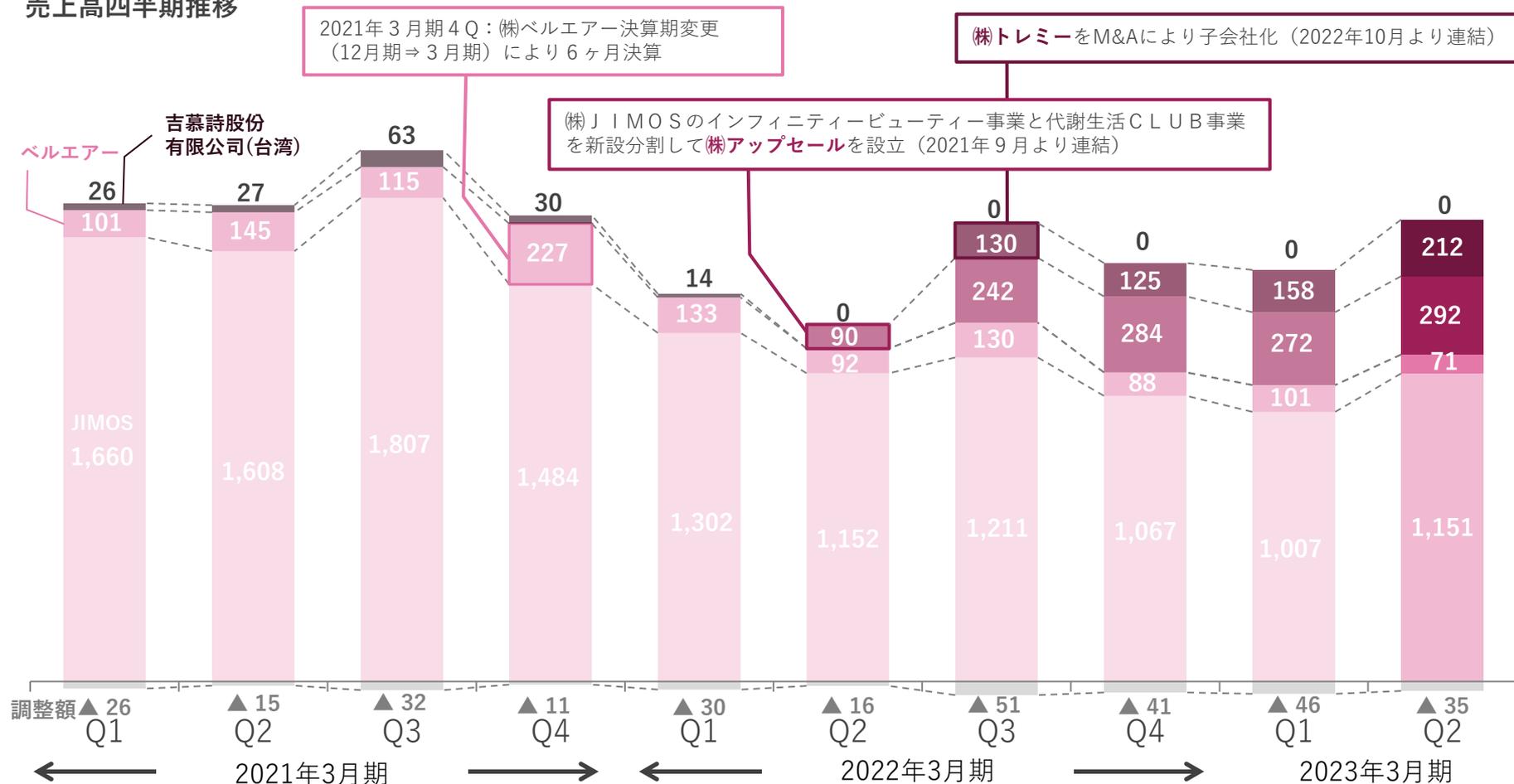
売上高推移



2-5b 美容・健康事業 売上高／営業利益の四半期推移

(百万円)										
売上高	1,763	1,765	1,954	1,730	1,419	1,319	1,658	1,524	1,493	1,691
営業利益	▲67	▲80	158	112	183	128	193	▲353	▲41	▲34

売上高四半期推移



(※) 調整額：主にセグメント内の売上高

2-5c 美容・健康事業 第52期以降の重点施策

- (株) J I M O S : 積極的な投資の実施による新規顧客獲得および新商品開発
前期に販売を開始したブランド「SINN PURETÉ」のさらなる浸透と拡販
当期吸収合併したブランド「豆腐の盛田屋」の販売強化
- (株)ベルエアー : 販路拡大を目的とする販売形態多様化および代理店制度への業態転換
- (株)トレミー : OEM事業に加えたODM提案の積極展開、垂直連携によるメリットの最大化
- (株)アップセール : 主力であるECモール販売の最適化
第三類医薬品「アユミンS」を活用した新規顧客獲得およびLTVの向上



macchia
MACCHIA LABEL
マキアレイベル



 coyori



SINN PURETÉ
natural & organics



 TOREMY



ベルエアー



UP SALE

03 2023年3月期の業績予想

3-1 連結業績予想

- 2022年3月期に対し、増収増益の見込み
- 2022年3月期に引き続き、人的資本や新商品・新サービス、販促活動等、顧客獲得のための積極的な先行投資を予定

				(百万円)									
		2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減額									
売	上	高	60,000	54,924	+ 5,075								
営	業	利	益	3,000	2,760	+ 239							
経	常	利	益	3,000	2,792	+ 207							
親	会	社	株	主	に	帰	属	す	る	益	2,000	1,708	+ 291
当	期	純	利	益									
E	P	S	89.12 円	76.17 円	+ 12.95 円								

3-2 連結業績予想：セグメント別売上高

	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減額
ク リ ク ラ 事 業	15,000	15,019	▲ 19
レ ン タ ル 事 業	16,200	15,916	+ 283
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	8,500	7,449	+ 1,050
住 宅 事 業	12,000	10,686	+ 1,313
美 容 ・ 健 康 事 業	8,300	5,921	+ 2,378
消 去 調 整 他 (新 規 ・ M & A 等 を 含 む)	—	▲ 69	—
合 計	60,000	54,924	+ 5,075

3-3 連結業績予想：セグメント別営業利益

(百万円)

	2023年3月期 予想	2022年3月期 実績	増減額
ク リ ク ラ 事 業	1,500 (10.0%)	1,269 (8.5%)	+ 230 (+ 1.5 pt)
レ ン タ ル 事 業	1,600 (9.9%)	1,621 (10.2%)	▲ 21 (▲ 0.3 pt)
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	1,000 (11.8%)	872 (11.7%)	+ 127 (+ 0.1 pt)
住 宅 事 業	230 (1.9%)	233 (2.2%)	▲ 3 (▲ 0.3 pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	350 (4.2%)	151 (2.6%)	+ 198 (+ 1.7 pt)
全 社 費 用 等 (新 規 ・ M & A 等 を 含 む)	▲ 1,680	▲ 1,387	▲ 292
合 計	3,000 (5.0%)	2,760 (5.0%)	+ 239 (▲ 0.0 pt)

※カッコ内の数値は売上高に対する営業利益率です。

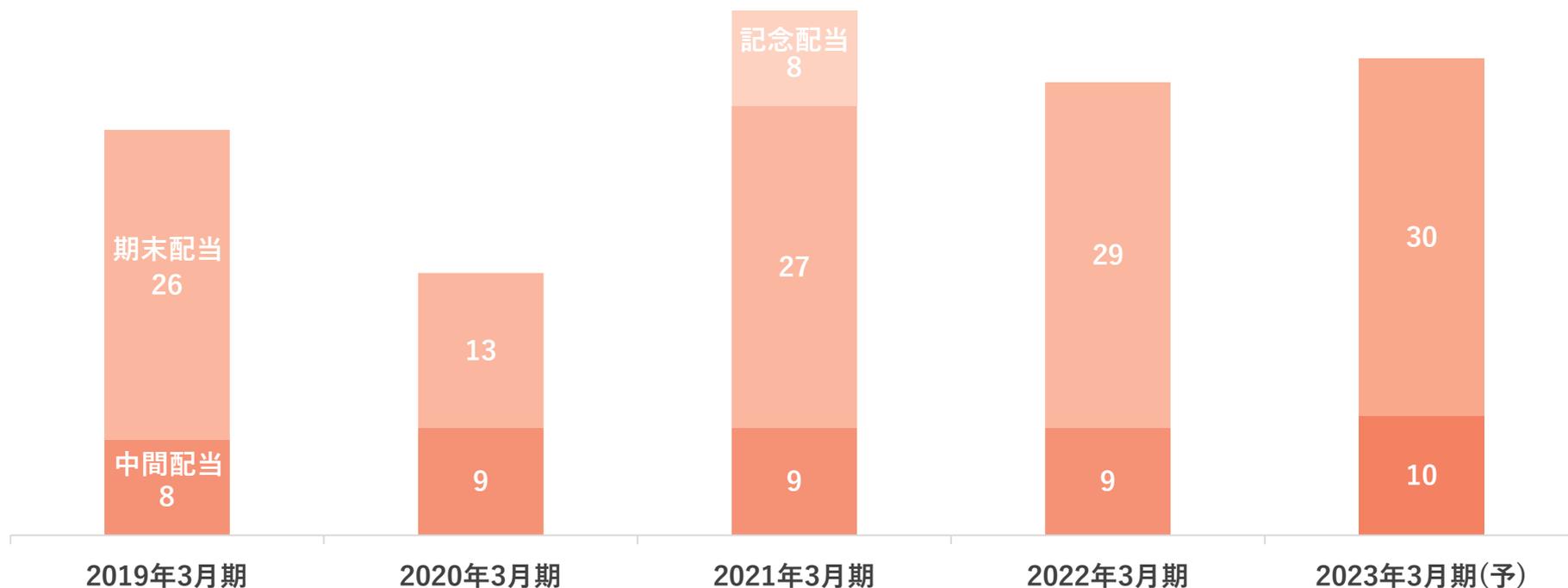
04 配当

4-1 配当方針および配当実績、配当予想

配当方針：純資産配当率(DOE) 4%かつ配当性向100%以内

年間配当額	34	22	44	38	40
純資産配当率 (DOE)	3.9%	2.5%	4.8%	3.9%	—
配当性向	84.3%	95.9%	53.6%	49.9%	44.9%

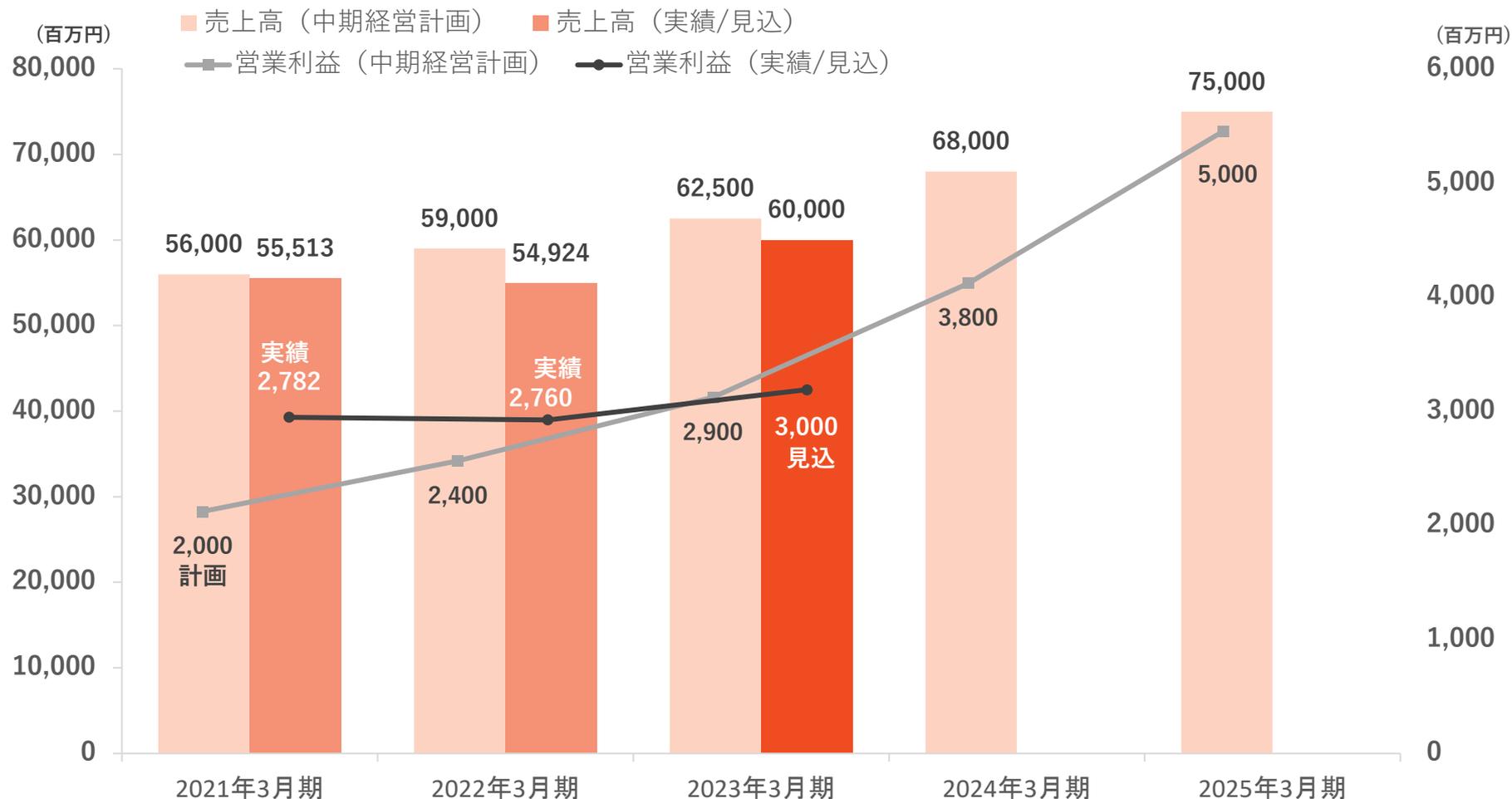
※記念配当 8 円の影響で純資産配当率 (DOE) が 4%を超えています



05 中期経営計画

5-1 中期経営計画の状況

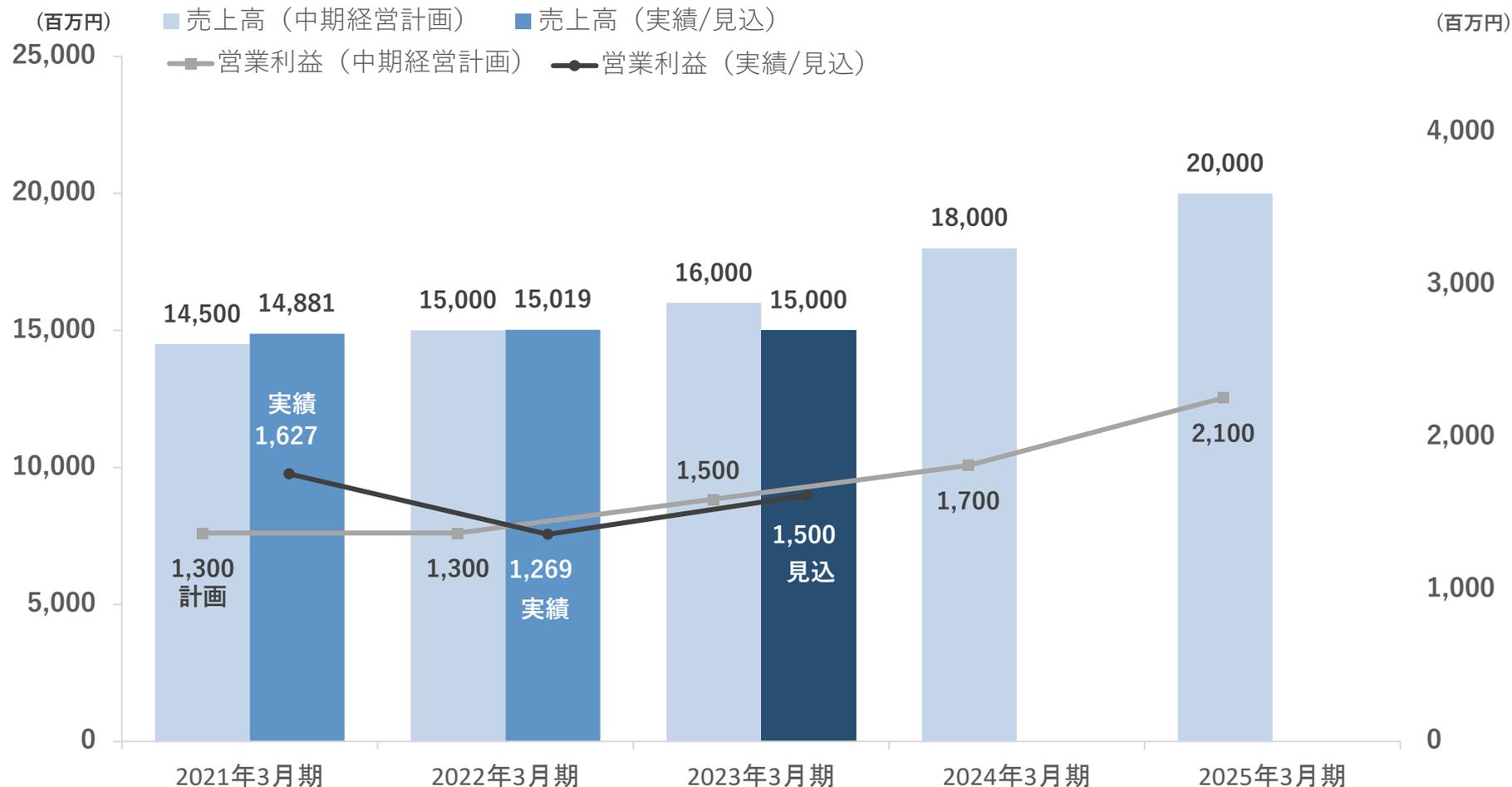
- 2023年3月期は引き続きクリクラ事業やレンタル事業を中心に積極的な先行投資を予定
- 前期比増収増益での計画となるが、中期経営計画に対しては減収増益を見込む



5-1 中期経営計画の状況（クリクラ事業）

■ 前期比増益での計画

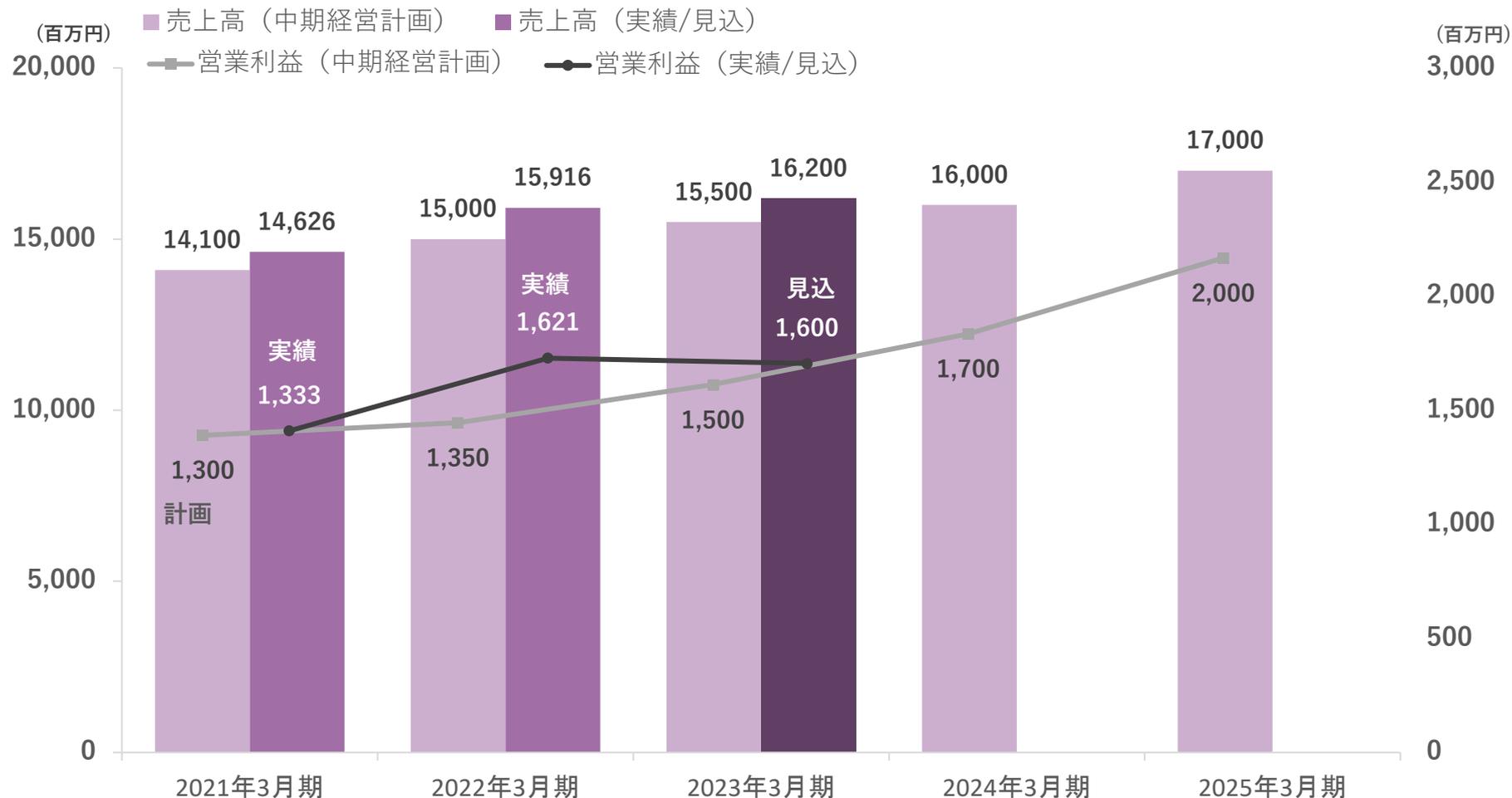
■ 中期経営計画に対しては減収を見込む



5-1 中期経営計画の状況（レンタル事業）

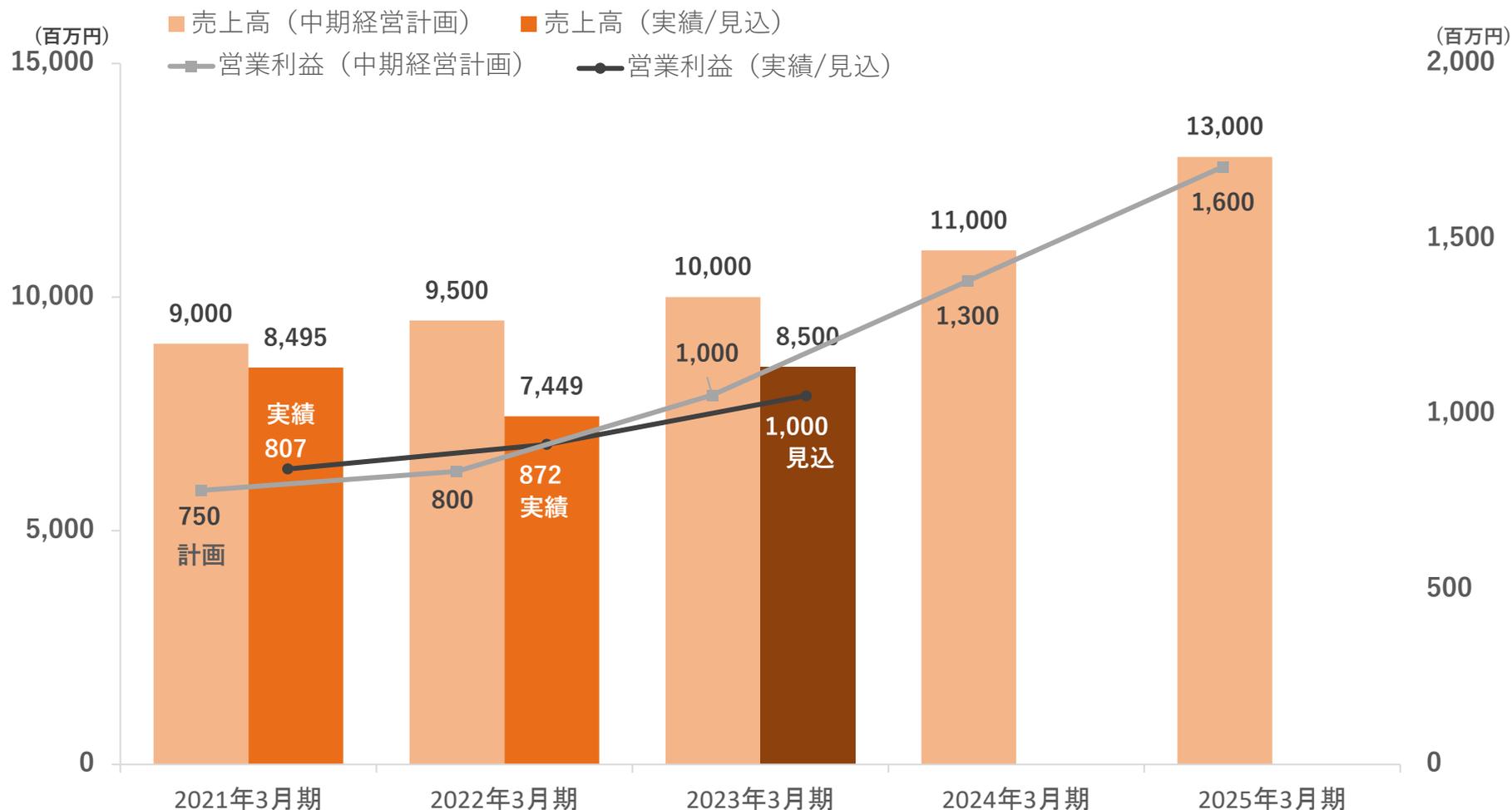
■ 前期比増収減益での計画

■ 中期経営計画に対しては増収増益を見込む



5-1 中期経営計画の状況（建築コンサルティング事業）

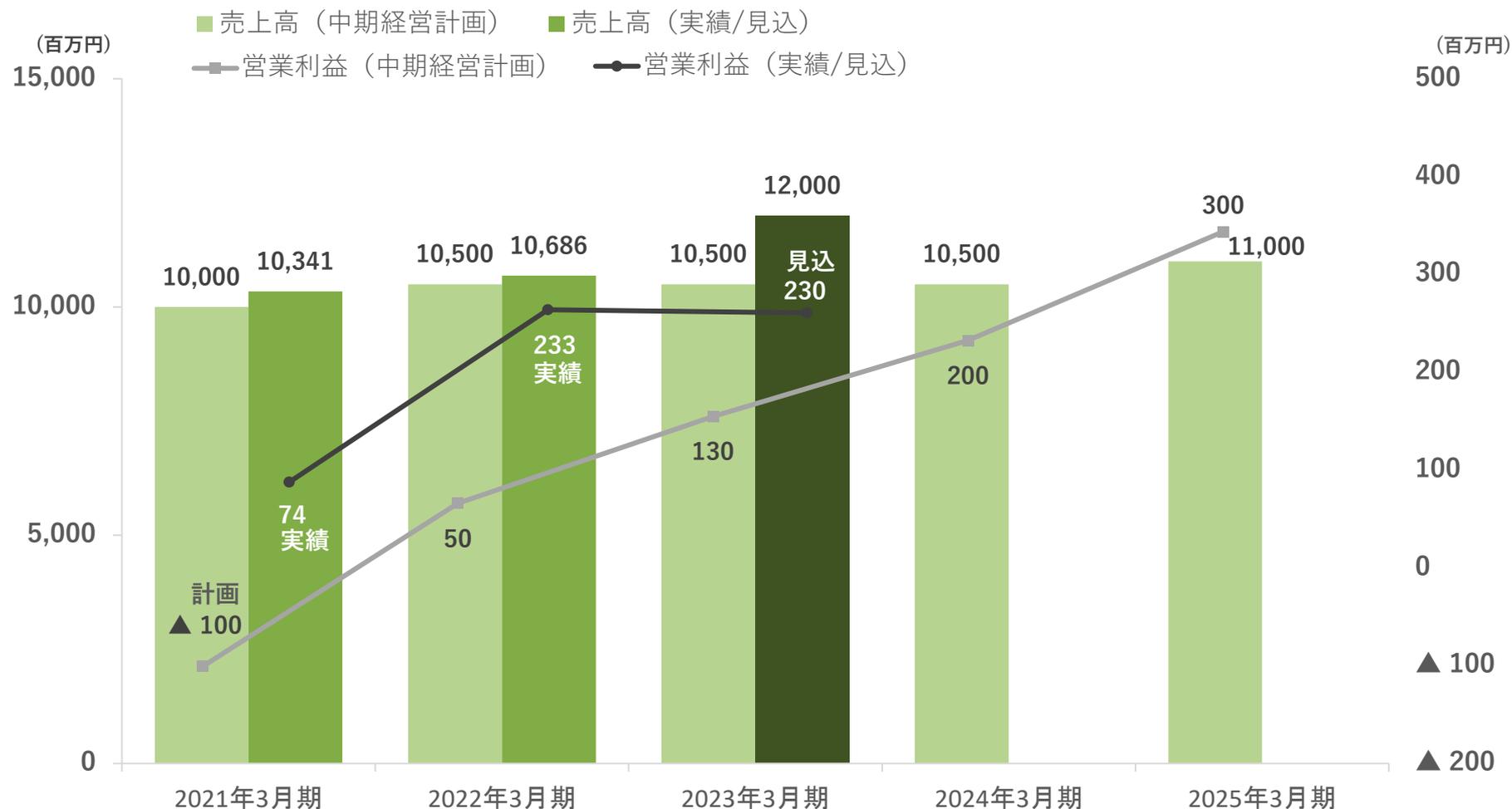
- 前期比増収増益での計画
- 中期経営計画に対しては減収を見込む



5-1 中期経営計画の状況（住宅事業）

■ 前期比増収減益での計画

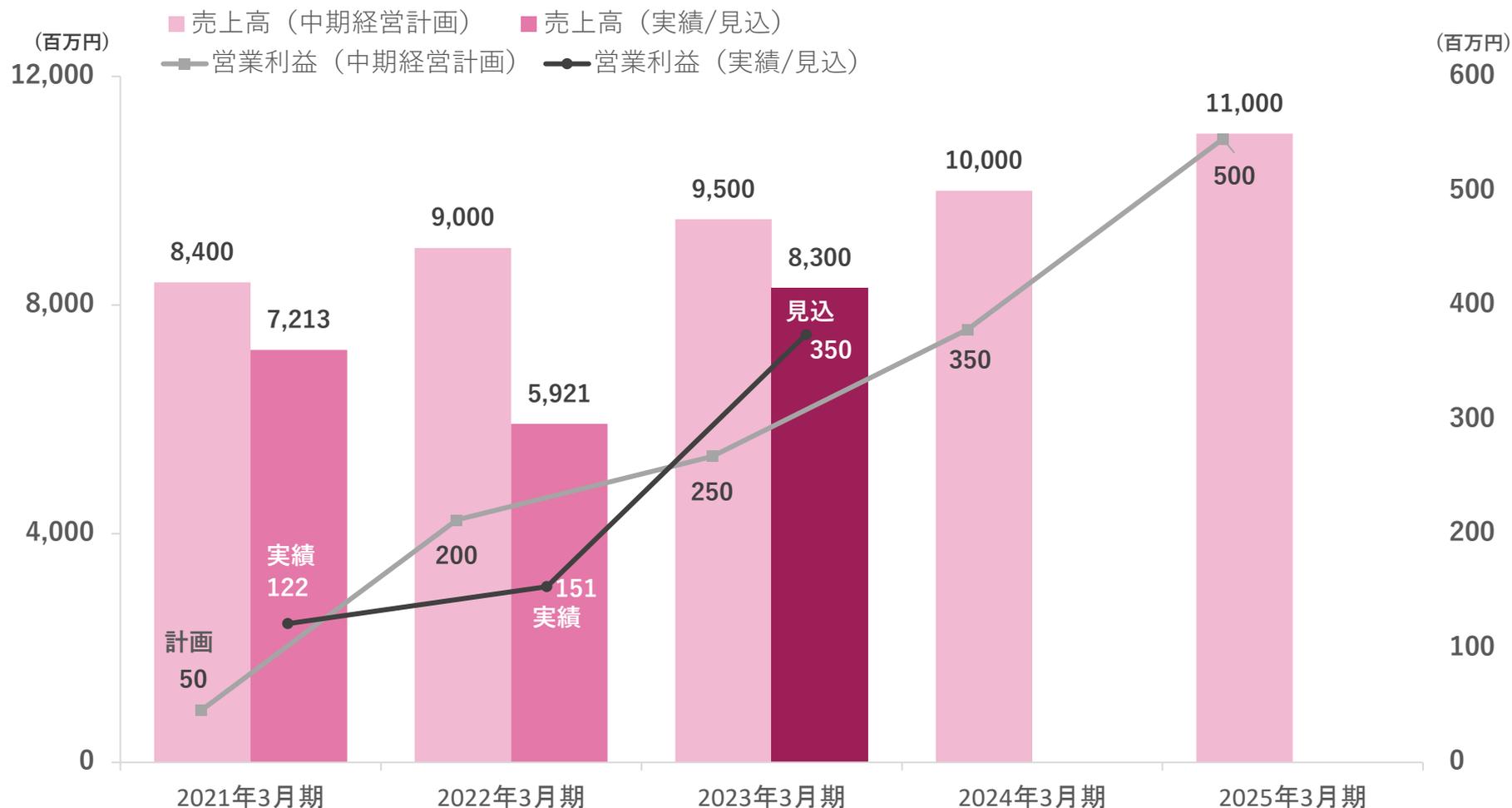
■ 中期経営計画に対しては増収増益を見込む



5-1 中期経営計画の状況（美容・健康事業）

■ 前期比増収増益での計画

■ 中期経営計画に対しては減収増益を見込む



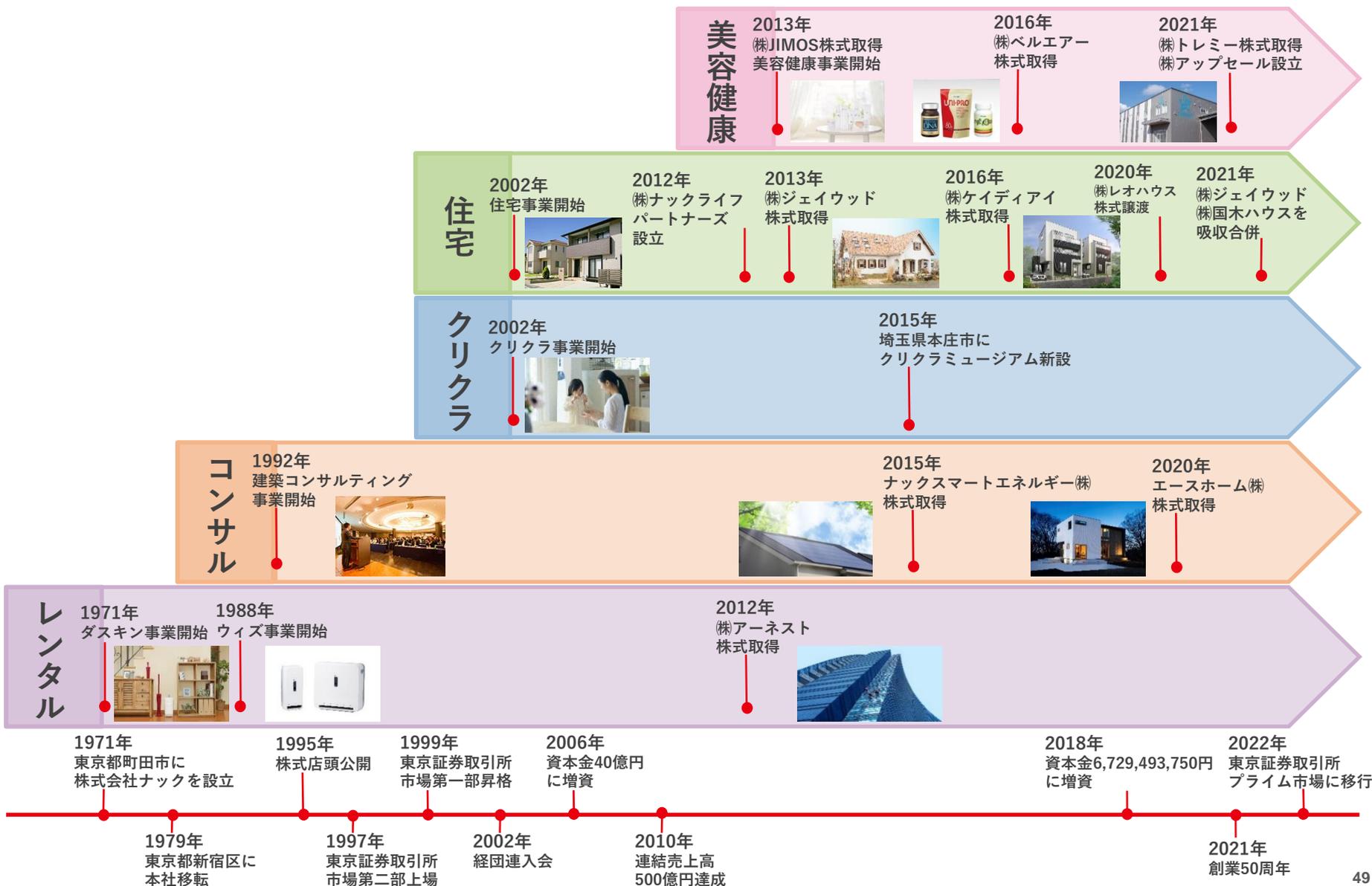
06 会社概要

6-1 会社概要

(2022年9月末時点)

商号	株式会社ナック (NAC CO., LTD.)								
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル42階								
設立	1971年5月20日								
代表者	代表取締役社長 吉村 寛								
連結子会社	<table><tr><td>レンタル</td><td>株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業)</td></tr><tr><td>コンサル</td><td>ナックススマートエネルギー株式会社 (省エネ商材販売・工事) エースホーム株式会社 (住宅フランチャイズ事業)</td></tr><tr><td>住 宅</td><td>株式会社ジェイウッド (注文住宅の建築請負) 株式会社ケイディアイ (分譲・注文住宅) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)</td></tr><tr><td>美容健康</td><td>株式会社 JIMOS (化粧品・健康食品の通販等) 株式会社ベルエアー (栄養補助食品、化粧品の製造販売) 吉慕詩股份有限公司(台湾) (美容・健康事業) 株式会社トレミー (化粧品の開発・製造) 株式会社アップセール (化粧品・健康食品・医薬品の通販等)</td></tr></table>	レンタル	株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業)	コンサル	ナックススマートエネルギー株式会社 (省エネ商材販売・工事) エースホーム株式会社 (住宅フランチャイズ事業)	住 宅	株式会社ジェイウッド (注文住宅の建築請負) 株式会社ケイディアイ (分譲・注文住宅) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)	美容健康	株式会社 JIMOS (化粧品・健康食品の通販等) 株式会社ベルエアー (栄養補助食品、化粧品の製造販売) 吉慕詩股份有限公司(台湾) (美容・健康事業) 株式会社トレミー (化粧品の開発・製造) 株式会社アップセール (化粧品・健康食品・医薬品の通販等)
レンタル	株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業)								
コンサル	ナックススマートエネルギー株式会社 (省エネ商材販売・工事) エースホーム株式会社 (住宅フランチャイズ事業)								
住 宅	株式会社ジェイウッド (注文住宅の建築請負) 株式会社ケイディアイ (分譲・注文住宅) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)								
美容健康	株式会社 JIMOS (化粧品・健康食品の通販等) 株式会社ベルエアー (栄養補助食品、化粧品の製造販売) 吉慕詩股份有限公司(台湾) (美容・健康事業) 株式会社トレミー (化粧品の開発・製造) 株式会社アップセール (化粧品・健康食品・医薬品の通販等)								
従業員数 (正社員)	連結 1,652 名 (パートタイマー、アルバイトは除く)								
資本金	6,729,493,750 円								
発行済株式数	24,306,750 株 (一単位: 100株)								
株主数	13,263 名 (自己名義株式を除く総株主数)								

6-2 ナックグループのあゆみ



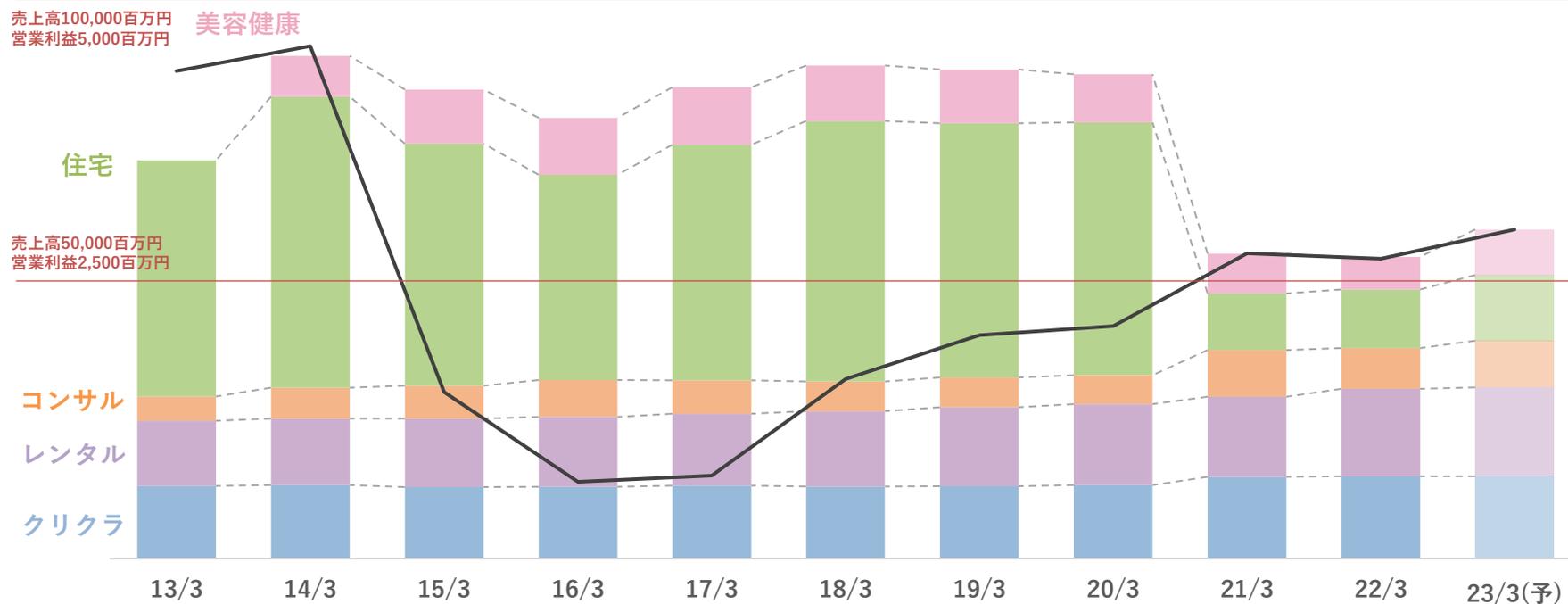
6-3 ナックグループ業績（過去10期＋予想）

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期(予)
売上高	72,621	91,630	85,443	80,302	85,901	89,818	89,111	88,222	55,513	54,924	60,000
営業利益	4,444	4,672	1,517	701	756	1,637	2,037	2,118	2,782	2,760	3,000

消費増税反動減により
住宅事業で大幅減少

レオハウス株式譲渡
により収益構造変化

【売上高推移：棒グラフ／営業利益推移：折れ線グラフ】



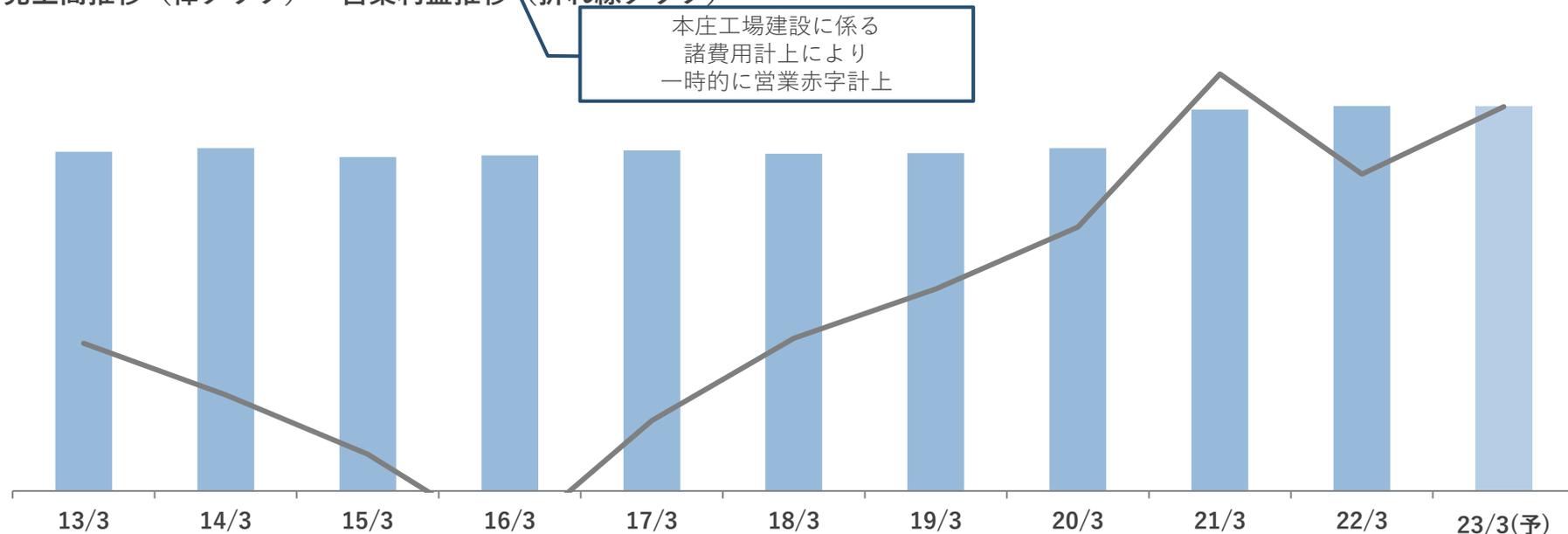
6-4 事業紹介 クリクラ事業

主な構成：(株)ナック クリクラ事業部

- 宅配水「クリクラ」及び次亜塩素酸水溶液「ZiACO(ジアコ)」の製造・販売
- クリクラチェーンの本部を運営（加盟店約500社）
- **11年連続お客様満足度No.1**（2021年12月ニフティ株式会社調べ「宅配水に関する調査」）
- **業界初のHACCP認証、ecoマークを取得、業界初の研究開発専門センター設立**
- **2015年4月に埼玉県本庄市に製造工場およびクリクラミュージアム設立**

売上高	(百万円)										
13,235	13,376	13,033	13,095	13,293	13,158	13,179	13,375	14,881	15,019	15,000	
営業利益	576	375	143	▲201	274	596	788	1,030	1,627	1,269	1,500

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）



6-5 事業紹介 レンタル事業

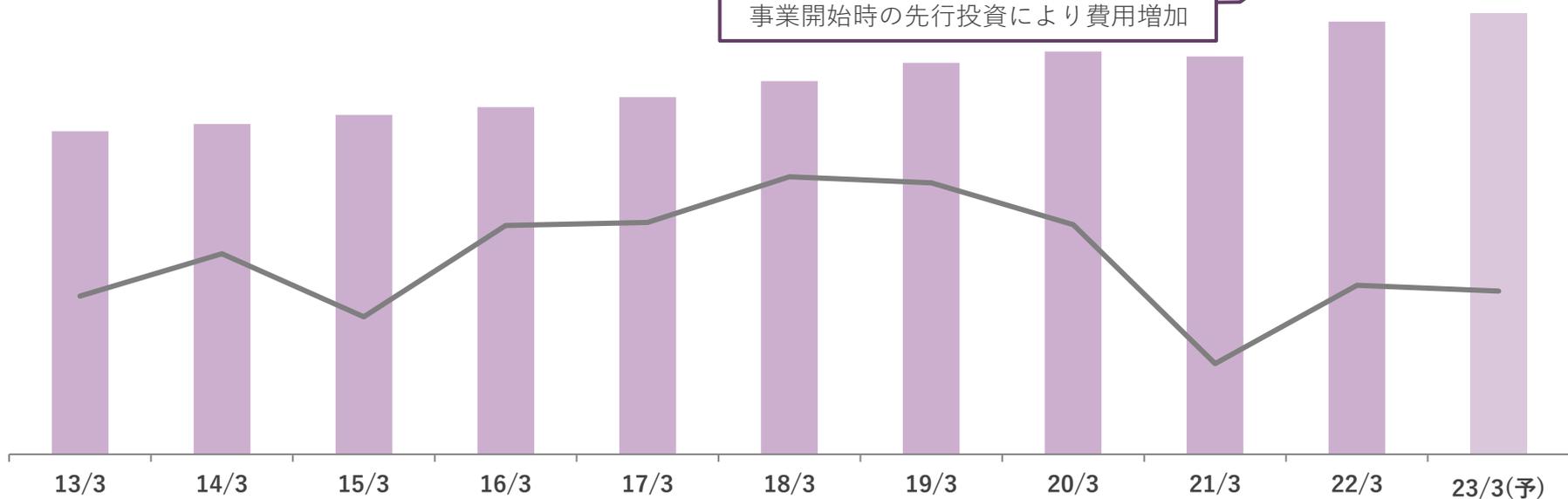
主な構成：(株)ナック レンタル事業部、(株)アーネスト

- ダストコントロール商品と害虫駆除器のレンタル・販売及び定期清掃業務等
- ダスキンプランチャイズディーラー**売上No.1**（約1,900社中）
- **日本初**の厚生労働省承認飲食店向け害虫駆除器「with」
- 2012年3月 (株)アーネストを子会社化（ビルメンテナンス事業）
- 2018年8月 (株)ダスキンの資本業務提携契約を締結

売上高											(百万円)
11,884	12,147	12,485	12,765	13,135	13,727	14,394	14,808	14,626	15,916	16,200	
営業利益											
1,582	1,738	1,505	1,841	1,853	2,021	1,998	1,844	1,333	1,621	1,600	

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）

(株)ダスキンの資本業務提携による
事業開始時の先行投資により費用増加



6-6 事業紹介 建築コンサルティング事業

主な構成：(株)ナック 建築コンサルティング事業部、ナックススマートエネルギー(株)、
エースホーム(株)

□ 地場工務店への建築ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、住宅フランチャイズ事業

■ ナック会員工務店 **約7,000社**

■ 2015年9月 ナックススマートエネルギー(株)を子会社化（省エネ商材販売・施工）

■ 2017年4月 (株)suzukuriを子会社化（異業種と提携した住宅事業を展開）

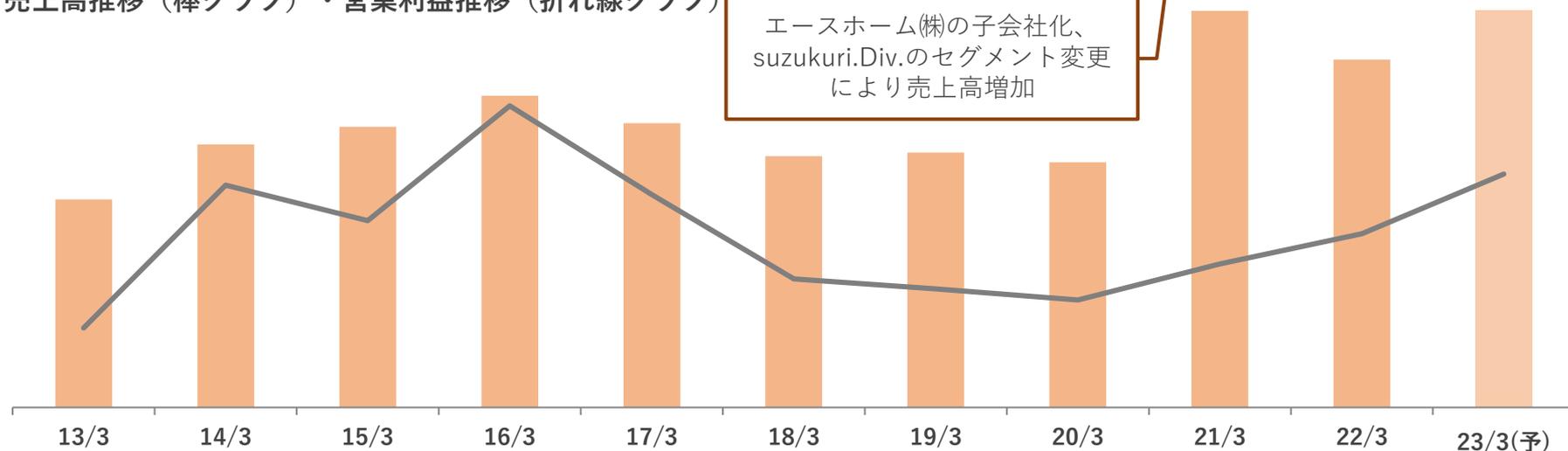
（2020年4月に住宅事業セグメントから変更後、suzukuri Div.として継続）

■ 2020年2月 エースホーム(株)を子会社化（住宅フランチャイズ事業）

売上高	4,455	5,628	6,014	6,676	6,089	5,383	5,459	5,251	8,495	7,449	8,500
											(百万円)

営業利益	670	976	900	1,146	956	775	754	730	807	782	1,000
------	-----	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）



エースホーム(株)の子会社化、
suzukuri.Div.のセグメント変更
により売上高増加

6-7 事業紹介 住宅事業

主な構成：(株)ケイディアイ、(株)ジェイウッド、(株)ナックライフパートナーズ

□ 戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務

■ 2013年7月 (株)ジェイウッドを子会社化 (自然素材の注文住宅)

■ 2016年5月 (株)ケイディアイを子会社化 (首都圏での分譲・注文住宅)

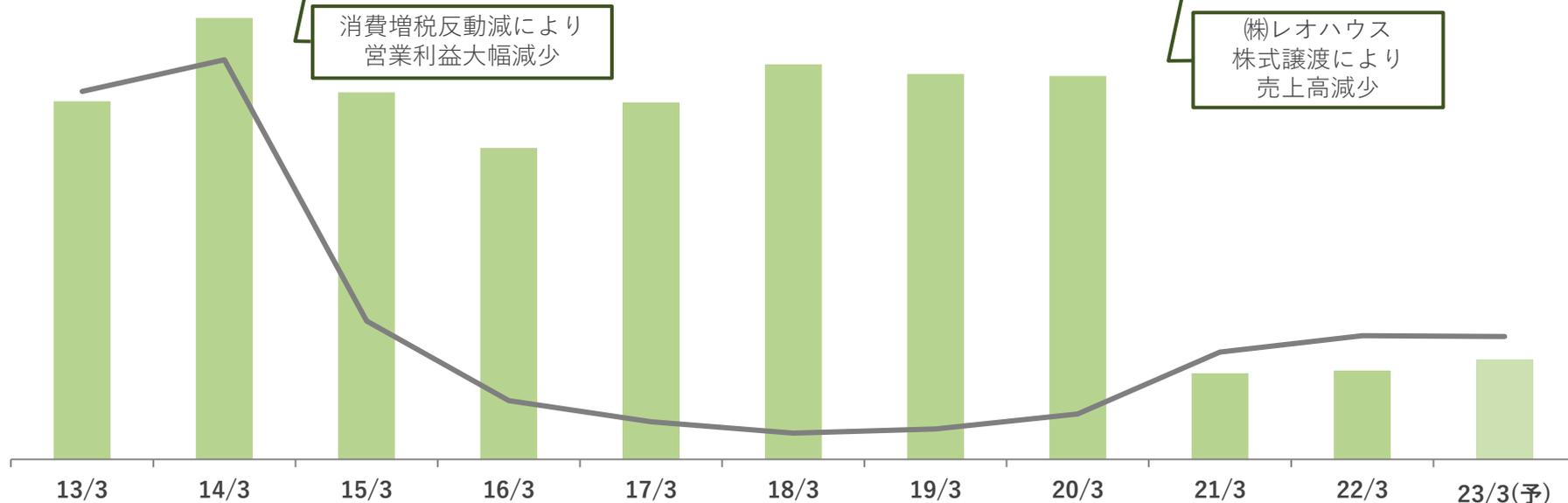
■ 2017年6月 (株)国木ハウスを子会社化 (北海道で住宅事業を展開)

(2021年4月 (株)ジェイウッドへ吸収合併)

売上高											(百万円)
43,049	53,059	44,134	37,452	42,936	47,492	46,318	46,101	10,341	10,686	12,000	
営業利益											
2,686	3,003	388	▲412	▲622	▲736	▲694	▲545	74	233	230	
売上高推移 (棒グラフ)	・ 営業利益推移 (折れ線グラフ)										

消費増税反動減により
営業利益大幅減少

(株)レオハウス
株式譲渡により
売上高減少



6-8 事業紹介 美容・健康事業

主な構成：(株)JIMOS、(株)ベルエアー、(株)トレミー、(株)アップセール

□ 化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売

■ 2013年7月 (株)JIMOSの子会社化により美容・健康事業参入

40～60代の女性を中心に、基礎化粧品が主力

■ 2016年12月 (株)ベルエアーを子会社化（サプリメント販売）

■ 2021年7月 (株)トレミーを子会社化（化粧品の受託製造）

■ 2021年9月 (株)アップセールを設立

(株)JIMOS取得時
会計処理修正により
費用計上

	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3(予)
売上高		7,421	9,825	10,378	10,463	10,115	9,801	8,764	7,213	5,921	8,300
営業利益		▲199	▲222	▲105	▲457	147	255	125	122	151	350

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）

